

## 福山平成大学の教育情報

【1】大学の教育研究上の目的 ＜各学科、研究科、専攻別＞	1
【2】教育研究上の基本組織 ＜基本組織＞＜学生数＞＜教育組織の運営＞	4
【3】教員数＜教員組織等＞	8
【4】入学者に関する受入方針及び入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、 卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況 ＜受入方針＞＜就職及び進学の状況（就職指導体制、就職状況、就職先、各種の資格）＞	10
【5】授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画	19
【6】学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準	31
【7】校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること	33
【8】授業料、入学料等（初年度分）	38
【9】大学が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援	39
【10】沿革	42
【11】上記以外の情報（産学官連携、社会貢献活動、大学連携高大連携）	44

平成 28 年 5 月 31 日（火）

## 福山平成大学の教育情報

### 【1】大学の教育研究上の目的

本学は広島県東部に位置し福山市など近隣市町村等の協力を得て「公私協力方式」により設立された大学である。このため、本学は福山市を中心とした備後地域の発展に貢献する人材育成を第一の目的としている。

また、多種多様・多岐にわたる社会からの要請に対応し、本学の教育理念として、“建学の精神”や“大学の基本理念”は、“全人教育”、“心情と愛の教育”、“人間と自然を尊ぶ教育”及び“知行合一の教育”の4つに定められており、各学部各学科の教育方針に色濃く反映されている。

#### ① 経営学部・経営学科

経営学部・経営学科は、“建学の精神”及び本学学則に定めるところに基づき、社会性を身につけた豊かで調和のある人間性を養い、経営学諸分野の高度な専門知識と技術を習得し、産業経済界で活躍できる実践的な人材を育成するとともに、これに関連する教育研究を行うことを目的とする。

現代の会社経営においては情報がこれまでとは比べものにならないほど重要な位置をしめるようになってきている。経営学科では“建学の精神”である全人格陶冶とともに、必要な経営学関係の専門知識だけではなく、経営における的確な状況判断能力や意思決定能力を身につけ、地域社会の発展に貢献できる即戦力としての“職業人”及び“産業人”を育成することを目標に、実学重視の教育を行っている。

#### ② 福祉健康学部・福祉学科

福祉学科は、“建学の精神”及び学則の定めるところに基づき、福祉に関する専門知識と技術を習得し、すべての人々の幸福に貢献できる人材を育成するとともに、これに関連する教育研究を行うことを目的としている。このため教育課程は、社会福祉コースと介護福祉コースの二コースで展開され、社会福祉士、精神保健福祉士、介護福祉士、そして保育士等を取得させることを目標とする。また、両コースに配当された科目や教育環境を相互に活用したり、両コース学生間交流を通して、社会福祉領域に関する多様で総合的な学びを得る工夫が行われている。このような教育課程を通して、子どもから高齢者、障害者等すべての人々の健やかな生活を目指す人間福利（“ウェルビーイング（well-being）”）の理念に則り、豊かな人間性と総合的实践力を備えた人材を輩出し、地域貢献を行っている。このような人材育成に役立つ学生支援システムとして、大学と地域の社会福祉関係者等が連携して、実習教育やボランティア活動を支援している。福祉の専門家として、福祉に関する“制度”とそこに“生”きる人間という複眼的で温かい視野を持つ人材養成にも積極的に取り組んでいる（“心情と愛の教育”）。

#### ③ 福祉健康学部・こども学科

こども学科は、“建学の精神”及び学則の定めるところに基づき、乳児から児童までの子どもに対して一貫して支援・教育を行える保育士、幼稚園教諭、小学校教諭を養成することを目的としている。

教育課程は、保育士資格及び幼稚園教諭一種免許状・小学校教諭一種免許状を取得できるように構成されている。理論と実践の両面から学びを深めるため、1年次から体験学習を行い、2年次の保育実習、3年次の幼稚園教育実習及び小学校教育実習、4年次における二度目の保育実習から総仕上げとしての

教育実践演習へと段階的な学びを設定して無理なく実践力を高めるとともに、4年間を通して大学で学ぶ新しい理論・技術が実践の場でどのように活かされるかを体得できるように工夫されている。また、子どもの感性と創造力を育む国語教育や体育、音楽、図画工作などの表現教育にも力点を置いており、特にピアノ教育においては、入学前から始まり、4年間を通してピアノ教育を行っている。

#### ④ 福祉健康学部・健康スポーツ科学科

健康スポーツ科学科は、“建学の精神”及び学則の定めるところに基づき、身体活動を介した健康やスポーツを体系的に深く理解するとともに、健康、スポーツ、教育に関する専門知識と技術を習得し、すべての人々の健康増進及びスポーツ振興の担い手として寄与しうる豊かな人間性と総合的实践力を備えた人材を育成することを目的としている。

このため、教育課程は、スポーツに関する医科学系、健康科学系、心理学系、社会学系、教育学系、コーチング系などの分野の知識を系統的に広く学習する。また、学んだ知識の定着及び実践による確認の意味を含め、スポーツ実技や演習の教科を数多く開講し充実させている。開設当初は、中・高齢者を対象に健康の維持・増進を目的とする学科であったが、平成17(2005)年には中学校・高等学校教諭(保健体育)の教員免許が、また平成19(2007)年には養護教諭の教員免許が取得できるようになり、これに伴って、従来の教育カリキュラムに加え、教育実践指導力の拡充のための実技や実習、さらには演習形式による授業の強化がはかられた。そして、平成21(2009)年には、学科に所属する教員で構成される大学院スポーツ健康科学研究科が設置されることとなり、学科の教育課程を引き継ぎ、継続して高度な職業人を育成することが可能となっている。

#### ⑤ 看護学部・看護学科

看護学部看護学科は、“建学の精神”及び学則の定めるところに基づき、生命の尊重を基本理念とし、豊かな人間性と倫理観に裏付けられた感性を持ち、保健、医療及び看護に関する高度な専門的知識と技術を習得し、すべての人々の健康増進及び社会福祉に貢献することができる人材を育成するとともに、これに関連する教育研究を行うことを目的とする。

このため、教育課程は、看護師や保健師免許を取得することを目標に構成され、教育内容と効果的な教育方法を精選して進めている。看護学を“人がよりよく生きる”ために、また“あらゆる健康レベルに対して援助する”ために“人間”、“健康”、“環境”及び“看護”を主軸に据え、また看護実践者、指導者、教育者または研究者を育成するために“人間と健康論”、“生活と環境論”、“看護活動論”及び“統合(総合)”領域の4本柱を相互に連動できるように構成している。

#### ⑥ 助産学専攻科

助産学専攻科は、女性の主体性を尊重し、安全で質の高い助産ケアが提供できる高度な専門知識と実践力を養い、女性の生涯を通じた健康支援ができる人材を養成する。また、豊かな人間性と倫理観に裏付けられた感性と思いやりの心をもつ助産師を養成する。

大学院は、学術の理論及び応用を教授し、研究し、その深奥を究めて、文化の進展に寄与することを目的として3つの研究科を設置している。

### ⑦ 大学院・経営学研究科

経営学研究科は、経営学分野の専門知識と先端的情報技術分野の専門知識を統合した高度な能力を身に付けた専門的職業人を育成するとともに、これに関する研究を行うことを目的とする。

経営学研究科は、経営情報学専攻のみで構成されており、経営学部経営学科の教育課程に連結された専攻となっている。授業科目は“経営学分野”、“情報学分野”、“経営情報学分野”及び“経営情報学演習”の4分野により構成され、より高度な知識を習得できるように学問体系に沿ってグループを分け配置している。また学部教育の時代から高度な理論と知識が積み上げられるよう、経営学科と一貫した教育課程の教育方針と教育方法によって教育を行っている。

### ⑧ 大学院・スポーツ健康科学研究科

スポーツ健康科学研究科は、ヒトの健康・体力に関する科学をベースに、競技力向上にも及ぶ医学的、生理的、心理的、教育的メカニズムや反応などを追求する。子どもから高齢者の健康と体力づくりや限りある競技生活の中でいかに競技力を向上させることができるかを念頭においた教育・研究を行い、将来の研究者、教育者およびスポーツ指導者を養成する。

また、体育科教育学、養護教育学を通じて、実効性のあるカリキュラム開発を可能とするような保健体育および養護教育の専門的指導者を養成する。

### ⑨ 大学院・看護学研究科

看護学研究科は、少子超高齢社会における看護専門職としての社会的責任を果たすため、医療の場を含む生活の場で必要とされる人々のQOL向上を目指し、生活者の視点で健康社会を支える人材を養成する。人間の尊厳とアドボカシー（advocacy）の志向に根ざし、看護活動の広範化・多様化に応じて、高いレベルの実践能力と倫理観を備え、根拠に基づいた看護を展開しつつ、研究成果を看護現場に還元することを目指す。また、看護専門職の育成に関する諸問題を考察できる研究的な視点を持った看護管理者、看護教育者、看護実践者を養成する。

## 【2】教育研究上の基本組織

本学の教育研究組織は福山平成大学組織図（図 2.1）に示すように、経営学部、福祉健康学部、看護学部の3つの学部、3つの研究科及び1つの専攻科で構成されている。また、附属図書館、情報教育研究センター、留学生支援室及び事務局の教育研究支援組織がある。

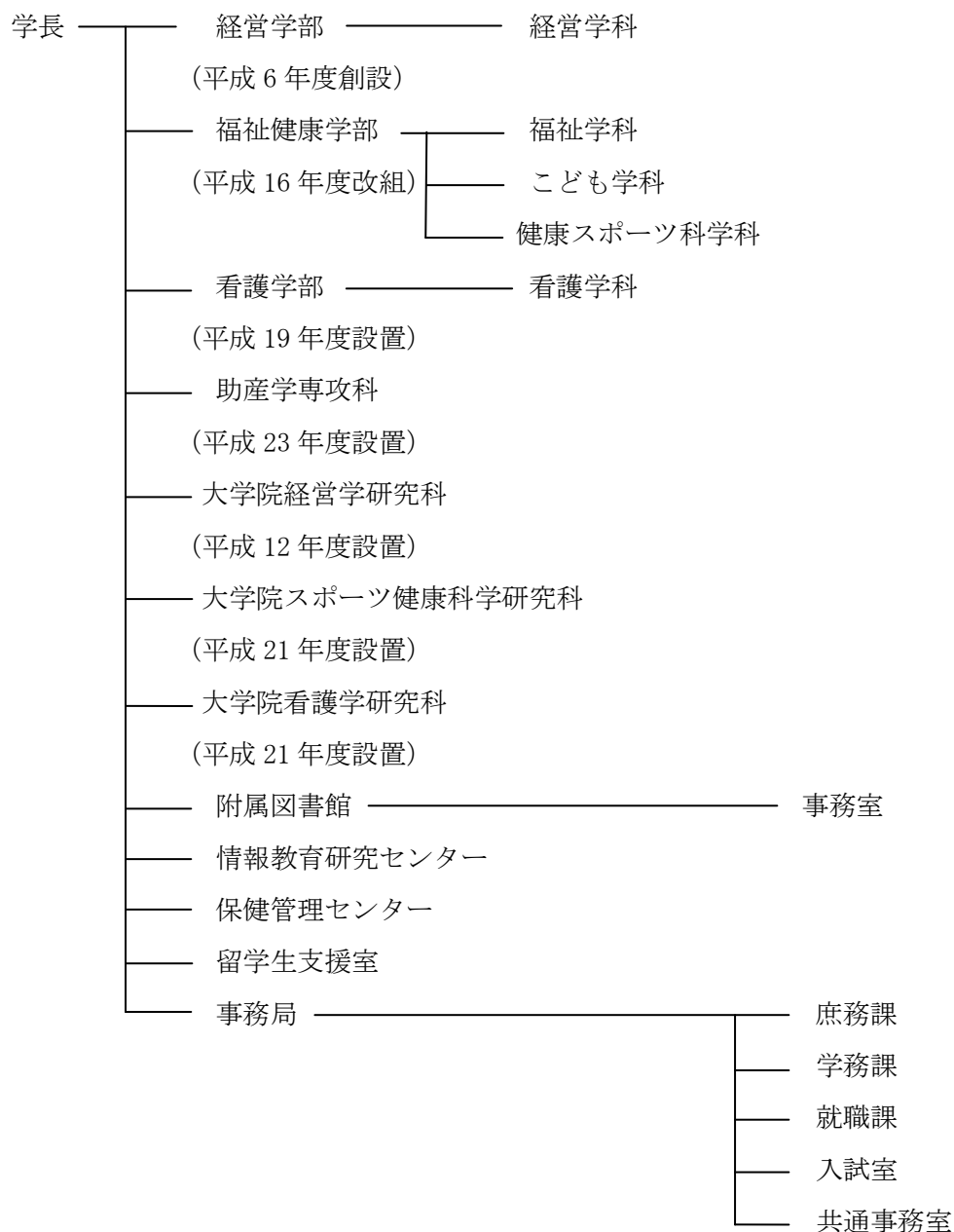


図 2.1 福山平成大学組織図

# 《学生数》

平成 28 年 4 月 1 日現在の福山平成大学の全学生数は、表 2.1 のとおり 1,218 人（学部生 1,198 人、院生 10 人、専攻生 10 人）である。

表 2.1 学生定員及び在籍学生数（平成 28 年 5 月 1 日現在）

（単：人）

学 部	学 科	入学 定員	収容 定員	学生数(留学生内数)						教 員 1 人当り 学生数	収容定員 充足率
				入学 者数	在籍 総数	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次		
経営	経営	50	200	32(1)	116(7)	32(1)	31(2)	30(1)	23(3)	7.6	58.0%
福祉健康	福祉	60	240	28	121	28	24	43	26	8.9	50.4%
	こども	50	200	40	183	40	37	55	51	16.4	91.5%
	健康スポーツ科	100	400	99	398	100	105	92	101	28.9	99.5%
小計 [学部平均]		210	840	167	702	168	166	190	178	18.4	83.6%
看護	看護	80	320	95	380	96	99	88	97	13.7	118.8%
合計 [全平均]		340	1,360	294(1)	1198(7)	296(1)	296(2)	308(1)	298(3)	14.7	88.1%

## （年度別学科別入学状況）

学 部	学 科	H24 入学者	H 25 入学者	H 26 入学者	H 27 入学者	H 28 入学者
経営	経営	33	32	36	30	32
福祉健康	福祉	25	26	41	24	28
	こども	50	54	57	43	40
	健康スポーツ科	104	106	96	110	99
看護	看護	104	102	91	97	95
合 計		316	320	321	304	294

大学院・研究科	課程	入学 定員	収容 定員	入学 者数	在籍 生数	1 年次	2 年次	H24 入学者	H 25 入学者	H 26 入学者	H 27 入学者	H 28 入学者
経営学	修士	5	10	1(1)	1(1)	1(1)	0	2	2	1	1	1(1)
スポーツ健康科学	〃	5	10	2	2	0	1	4	3	1	2	0
看護学	〃	5	10	3	7	4	3	6	6	4	3	4
合 計		15	30	6(1)	10(1)	5(1)	4	12	11	6	6	5(1)

（注）経営学研究科の「( )」は留学生のうち数

専攻科	課程	入学 定員	在籍 生数	H24 入学者	H 25 入学者	H 26 入学者	H 27 入学者	H 28 入学者
助産学	1 年	10	10	5	9	7	10	10

（注）全学生に占める女子学生比率は、51.5%である

退学・除籍者数、退学率（平成 28 年 3 月 31 日現在）

学部	学科	退学・除籍者数				退学率(%)			
		H24	H25	H26	H27	H24	H25	H26	H27
経営学部	経営学科	8	10	3	8	4.3	5.9	2.1	6.6
福祉健康学部	福祉学科	3	2	4	2	2.9	1.9	3.1	1.7
	こども学科	7	6	5	3	3.9	3.0	2.3	1.5
	健康スポーツ科学科	10	16	13	11	2.5	4.0	3.3	2.7
看護学部	看護学科	18	13	6	5	5.0	3.3	1.6	1.3
合 計		46	47	31	29	3.8	3.7	2.5	2.4

・退学率=(退学者数)/(各年学生数)

留年者数（平成 28 年 3 月 31 日現在）

学部	学科	留年者数			
		H24	H25	H26	H27
経営学部	経営学科	6	4	4	4
福祉健康学部	福祉学科	2	1	1	0
	こども学科	4	2	0	0
	健康スポーツ科学科	8	11	18	6
看護学部	看護学科	10	14	5	8
合 計		30	32	28	18

平成 27 年度 卒業者数・進学者数・就職者数 H28 年 5 月 1 日現在 （9 月卒業者含む）

学部／研究科／専攻科		学科／専攻	卒業者数	うち進学者数	うち就職者数	学位授与数
大 学	経営	経営	30	3	27	30
	福祉健康	福祉	25	0	25	25
		こども	45	3	42	45
		健康スポーツ科学	91	5	86	91
	看護	看護	89	13	76	89
	合 計		280	24	256	280
大学院	経営学	経営学	1	0	1	1
	スポーツ健康科学	スポーツ健康科学	1	0	1	1
	看護学	看護学	4	0	4	4
	合 計		6	0	6	6
専攻	助産学		10	0	10	-

H28 年 5 月 1 日現在 （9 月卒業者含む）

## 《教育組織の運営》

本学は、学校法人福山大学の傘下で、教育研究の目的に沿って、それぞれの組織が相互に連携しながら図 2.2 のとおり運営されている。

大学全体の教育研究に関わる重要な問題については、評議会や部局長会において決定された基本方針に基づき、学部教授会、研究科委員会及び各種委員会において、その具体的な対応についての審議が行われ、学部長等連絡会議で議題として整理され、全学教授会の審議に付される、という流れになっている。また、教育研究に関する具体的な取組みは、教務委員会、学生委員会、入試委員会、就職委員会及び広報委員会等の委員会で十分検討され、各学科単位で組織されている学科会議において協議され、教員間での意思疎通が図られる体制となっている。

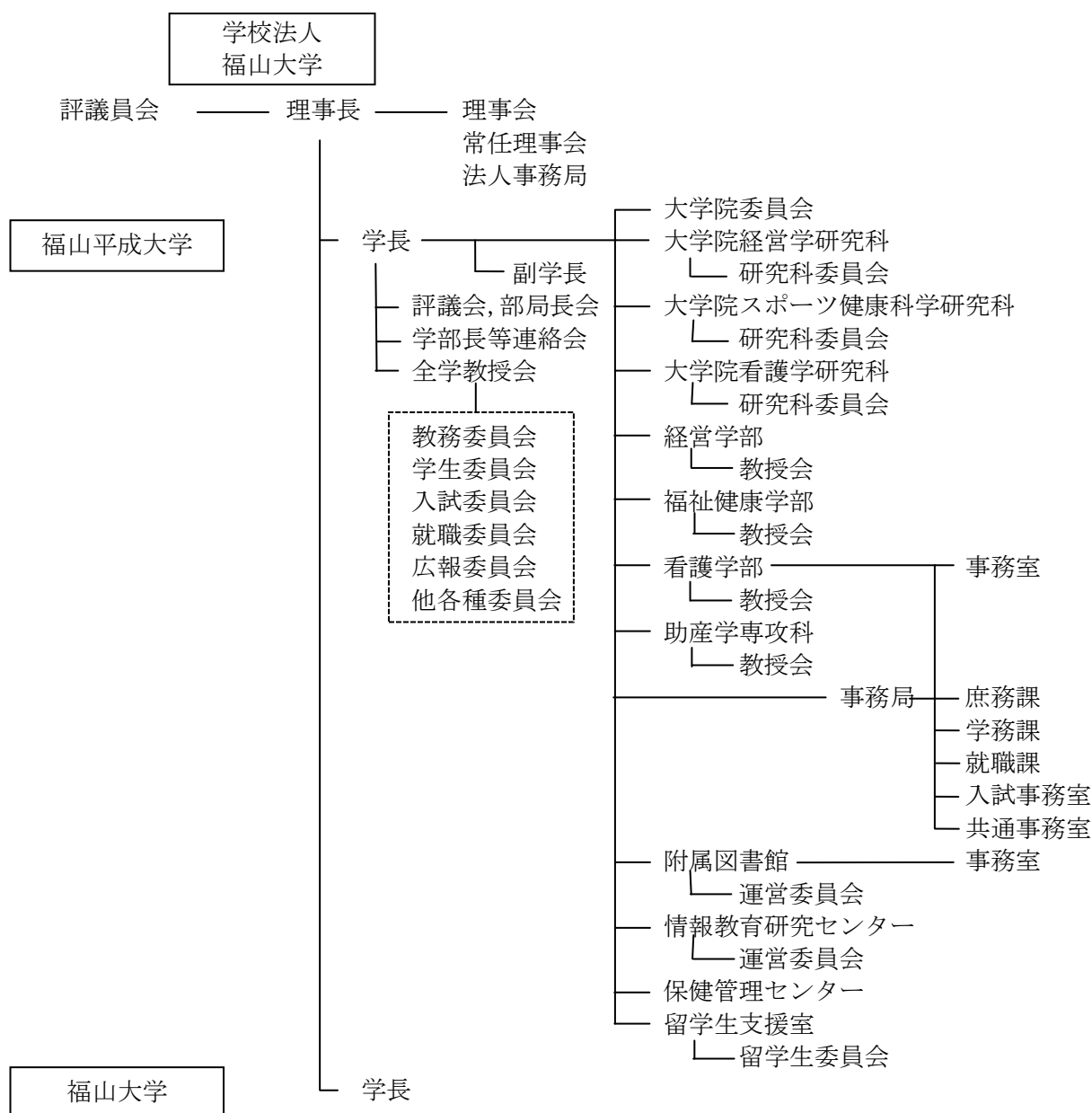


図 2.2 福山平成大学運営組織図

### 【３】教員数

専任教員 87 人(授業担当は学長を除く 86 人)及び非常勤講師 88 人で授業（講義・演習・実習）を担当している。

表 3.1 平成 28 年 5 月 1 日現在の教員数

(単位:人)

学 科 名	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手	専任 計	非常勤 [客員] (特任)	備 考
学 長	1	-	-	-	-	1	-	< >の数字は、 大学院担当 で内数  ○の数字は、 女性教員で 内数  [ ], ( )の数字 は外数  《 》助産学兼 担  [ ]兼担一般
経営学科	10 <3> ①	2 <1> ①	3 <1> ①	1	1 ①	17 <5> ③	18 ③	
福祉学科	5 ①	7 ③	0	0	1 ①	13 ⑤	5 ②	
こども学科	5 ④	6 ②	1	0	0	12 ⑥	13 ⑦ (1)	
健康スポーツ科学科	7 <1>	3 <1> ①	4	0	1 ①	15 <2> ②	15 ⑨ (1)	
看護学科	7 <7> ⑥	4 <3> ②	7 <3> ⑦	7 ⑥	4 ④	29 <13> ②⑤	18 ⑨ <(1)>	
助産学専攻	《1》	《0》	《2》	《2》	《0》	《5》	5 ③	
一般教養科目	[7]	[3]	[4]	[0]	[-]	[14]	14 ④	
計	35 <11> ⑫	22 <5> ⑧	15 <4> ⑧	8 ⑥	7 <0> ⑦	87 <20> ④①	88 ③⑦ (3)	175 <20> ⑦⑥ (3)

(注) 専任教員に占める女性教員比率は、49.4%である。

(専任教員年齢別教員数)

学科	29 歳以下	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～64 歳	65～69 歳	70 歳以上	合計	備考
経営学科	0	3	4	3	5	1	1	17	
福祉学科	0	1	4	4	2	2	0	13	
こども学科	0	4	2	2	0	4	0	12	
健康スポーツ科学科	1	2	5	3	1	2	1	15	
看護学科	0	3	9	9	4	4	0	29	
計	1	13	24	21	12	13	2	86	

表 3.2 教員の一覧(各教員の研究業績は、本学ホームページ(研究者一覧)をご検索ください。)

【学位】									
【専門分野】担当科目									
学長	田口 則良	【文学博士】							
経 営 学 部									
経 営 学 科									
学部長	坪井 始	【工学博士】							
教 授	【情報システム】情報システム								
学科長	村社 隆	【経済学士】							
教 授	【中小企業産業集積】現代企業論								
	田中 三樹	【商学修士】							
	【経営史】経営史								
	川久保 和雄	【工学修士】							
	【情報システム】コンピュータ入門								
	福井 正康	【工学博士】							
	【社会システム分析】統計								
	小玉 一樹	【博士（マネジメント）】							
	【人的資源管理論】経営組織論								
	市瀬 信子	【文学修士】							
	【中国文学】中国語								
	佐藤 真司	【工学士】							
	【教育工学】ネットワーク								
	芝田 全弘	【修士（経営学）】							
	【財務会計】会計学原理								
	渡辺 清美	【博士（教育学）】							
	【英語】英語								
准教授	尾崎 誠	【博士（工学）】							
	【マルチメディア】情報処理論								
	佐藤 幹	【博士（マネジメント）】							
	【管理会計論】原価計算論								
講 師	本田 良平	【修士（文学）】							
	【アメリカ文学】英会話								
	徐 恩之	【博士（商学）】							
	【商学】マーケティング								
	朝日 亮太	【博士（商学）】							
	【商学】経営入門								
助 教	細川 光浩	【修士（経営情報学）】							
	【情報処理教育】データベース								
助 手	奥田 由紀恵	【修士（経営情報学）】							
	【情報処理教育】表計算								
福 祉 健 康 学 部									
福 祉 学 科									
学科長	大中 章	【文学修士】							
教 授	【カウンセリング】精神科リハビリテーション学								
	壺井 基夫	【理学博士】							
	【遺伝学】バイオテクノロジー								
	小椋 喜一郎	【文学修士】							
	【社会福祉】社会福祉論								
	向井 通郎	【博士（社会福祉学）】							
	【社会福祉】障害者福祉論								
	中司 登志美	【修士（学術）】							
	【介護福祉】認知症の理解								
准教授	大深 俊明	【修士（社会福祉学）】							
	【社会福祉】児童福祉論								
	藤井 宏明	【修士（医療福祉学）】							
	【介護福祉】介護技術								
	中嶋 裕子	【修士（学術）】							
	【精神保健福祉】理論と相談援助								
	杉本 浩章	【修士（福祉マネジメント）】							
	【社会福祉】地域福祉論								
	加藤 友野	【（修士）臨床福祉学】							
	【介護福祉】こころとからだのしくみ								
	伊藤 泰三	【修士（社会福祉学）】							
	【社会保障】社会保障論								
	中尾 治子	【修士（文学）】							
	【介護福祉】介護概論								
助 手	氏原 有記	【修士（スポーツ健康学）】							
	【社会福祉援助技術現場実習指導】								
福 祉 健 康 学 部									
こ ど も 学 科									
学部長	永井 純子	【博士（学校教育学）】							
学科長	【健康教育】保健体育科教育学特講								
教 授	山崎 洋子	【博士（学術）】							
	【教育学】教育原理								
	中村 喜久江	【博士（教育学）】							
	【家庭教育】初等家庭								
	加知 ひろ子	【文学修士】							
	【教育心理学】言語発達論								
	林原 慎	【博士（学術）】							
	【国際理解教育】初等社会								
准教授	三藤 恭弘	【博士（教育学）】							
	【初等国語科教育学】初等教科教育法（国語）								
	中原 大介	【修士（社会学）】							
	【対人援助】家庭支援論								
	伊藤 憲孝	【修士（音楽）】							
	【音楽】ピアノⅠ								
	大西 理恵子	【修士（心理学）】							
	【臨床心理学】臨床心理学								
	田中 宏和	【博士（法学）】							
	【法学】憲法								
	池田 明子	【修士（教育学）】							
	【幼児教育】保健内容総論								
講 師	相田 紘孝	【修士（教育学）】							
	【算数・数学教育】初等算数Ⅰ								

福 祉 健 康 学 部									
健康 ス ポ ー ツ 科 学 科									
学科長	石橋 勇	【修士（社会学）】							
教 授	【コンディショニング科学】臨床スポーツ医学								
	房前 浩二	【学士（教育学）】							
	【保健体育科教育学】保健体育教員教育実践演習								
	沖増 英治	【医学博士】							
	【生命科学】医学一般								
	上村 崇	【博士（文学）】							
	【倫理学】道德教育								
	武田 守弘	【博士（教育学）】							
	【スポーツ心理学】メンタルトレーニング方法論								
	楠本 恭久	【修士（文学）】							
	【スポーツ心理学】スポーツカウンセリング								
	入澤 雅典	【修士（教育学）】							
	【スポーツ生理学】臨海指導実践演習（遠泳）								
客員教授	大成 浄志	【医学博士】							
	【健康医学】微生物学・免疫学								
准教授	中村 雅子	【修士（看護学）】							
	【養護教育学】養護概論								
	森澤 桂	【修士（体育学）】							
	【スポーツ運動学】運動スポーツ方法論								
	松田 広	【修士（スポーツ科学）】							
	【体育科教育学】保健体育科教育法								
講 師	松井 弘志	【修士（スポーツ健康学）】							
	【コーチング学】スポーツ実践演習								
	若井 研治	【修士（スポーツ健康学）】							
	【コーチング学】サッカー								
	高本 健彦	【修士（健康体育学）】							
	【健康科学】運動処方論								
	大橋 充典	【修士（教育学）】							
	【スポーツ社会学】スポーツ文化論								
助手	石井 智紋	【修士（スポーツ健康学）】							
	【健康科学】健康スポーツ実技								
看 護 学 部									
看 護 学 科									
学部長	森田 なつ子	【修士（経済学）】							
教 授	【基礎看護学】看護管理学								
学科長	木宮 高代	【修士（看護学）】							
教 授	【老年看護学】高齢健康科学・災害看護論								
	谷田 恵美子	【博士（社会学）】							
	【在宅看護学】在宅看護論								
	齋藤 智江	【修士（保健科学）】							
	【成人看護学】成人看護学概論								
	井上 徹	【博士（医学）】							
	【基礎医学】栄養と代謝								

若井 和子		【博士（医療福祉学）】							
【母性看護学】母性と生命科学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ									
高橋 永子		【修士（看護学）】							
【基礎看護学】看護倫理学									
客員教授	橋本 和子	【学士（衛生看護）】							
【看護管理学】保健科教育法Ⅰ									
准教授	曾根 清美	【学士（人間学）】							
【成人看護学】生活習慣と健康Ⅰ									
	齋藤 公彦	【修士（看護学）】							
	【公衆衛生看護学】保健医療福祉行政論								
	岡 和子	【修士（社会福祉学）】							
	【成人看護学】看護科教育法								
	池田 石雄	【修士（看護学）】							
	【精神看護学】こころのケア								
講 師	加地 みゆき								
【成人看護学】成人看護援助学									
	塩崎 直子	【修士（学術）】							
【基礎看護学】国際看護活動論									
	伊東 美佳	【修士（看護学）】							
【基礎看護学】治療援助学									
	村上 博美	【修士（保健看護学）】							
【母性看護学】母性看護援助学									
	佐竹 潤子	【学士（教養）】							
【小児看護学】子どもの成長と健康									
	内田 史江	【修士（看護学）】							
【基礎看護学】生活援助学・看護学教育論									
	山崎 晶子	【修士（看護学）】							
【助産学】助産とエビデンス									
助 教	藤原 弘子	【修士（看護学）】							
【母性看護学】母性看護・助産学実習									
	大元 雅代	【修士（看護学）】							
【在宅看護学】在宅看護学実習									
	片山 紳	【学士（経営情報学）】							
【精神看護学】精神看護学実習									
	村岡 江里	【修士（看護学）】							
【老年看護学】老年看護援助学									
	笹木 佳子	【修士（看護学）】							
【公衆衛生看護学】公衆衛生看護技術論									
	木場 しのぶ	【修士（看護学）】							
【成人看護学】成人看護学実習									
	樋口 雪子								
【母性看護学】母性看護・助産学実習									
助 手	廣田 明美								
【基礎看護学】基礎看護学実習									
	柿本 久美子	【学士（次世代教育学）】							
【小児看護学】小児看護学実習									
	生藤 仁美								
【老年看護学】老年看護学実習									
	山内 紀代美								
【成人看護学】成人看護学実習									

#### 【４】入学者に関する受入方針及び入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況

##### ＜受入方針＞

本学の“建学の精神”には、「大学は、真理を探究し道理を実践する勇気ある若人、生命を尊び他人を敬い自らの郷土・社会・国家を愛し、進んで世界を愛することのできる視野の広い若人を期待し、歓迎する。本学は、未来を志向する無垢な若人に明日の希望を託し、明るい未来の礎を築くため、人材養成を主眼とする。」と記されている。また、“知行合一”を教育理念の一つとして、社会のニーズに沿った理論と応用的技術能力を備えた社会人の養成を主眼としている。そこで、本学の３学部５学科の全ては実社会で即戦力となることを目指すとともに、各種の資格が取得できるように教育課程上の工夫をしている。

また、本学は、時代の変化に対応できる知識と技術に裏付けられた「総合的な問題解決能力」を身につけ、幅広い視野のもとで自分の責任で考え、選択し行動できる人。即ち、これからの社会で活躍できる人材を育成します。本学ではこの目標の実現に向けて、次のような人の入学を期待します。

- ・ 自ら学び、自ら考え未来を切り拓く意欲がある人
- ・ 自己実現に向かって目的意識をもって、継続して努力ができる人
- ・ 実社会で即戦力となることを目標にして、積極的に取り組みができる人

##### （経営学部・経営学科）

経営学科は、社会性を身につけた豊かで調和のある人間性を養い、経営学諸分野の高度な専門知識と技術を取得し、産業経済界で活躍できる実践的な人材を育成するとともに、これに関連する教育研究を目的としています。

##### アドミッション・ポリシー（入学者受け入れ方針）

経営学科では、豊かな人間性にあふれ、考えの異なる人たちとも協調して、時代の要請する企業経営上の、あるいは地域が直面している課題の解決に取り組み、地域の発展に貢献できるビジネスパーソンや産業人等の人材を育成します。そのために、次のような意欲と熱意をもった人を積極的に受入れます。

- １．高等学校における学習内容を理解し、また、スポーツ・文化などの部活動や生徒会活動、地域のボランティア、あるいは資格の取得などに主体的、積極的に取り組み、大学入学後も目的をもって主体的に学生生活を送ろうという意欲をもっている人。
- ２．現代の企業の経営や地域の現状について関心があり、そういった問題をより深く理解するために、自ら進んで勉強し、継続した努力のできる人。
- ３．将来、ビジネスパーソンや産業人、あるいは地域で活躍しようとして、経営関係分野の専門知識や技術の習得をめざしている人。

##### （福祉健康学部・福祉学科）

##### アドミッション・ポリシー（入学者受け入れ方針）

福祉学科では、「共感と共生」を基本にした福祉（ウェルビーイング）の理念を柱に、共感の心・自立

の支援・共生を可能にする福祉のプロフェッショナルの養成をめざします。福祉施設等の実習をとおして専門知識と実務能力を備えた人材を育成します。福祉学科では、次のような意欲と熱意をもった人の入学を期待します。

1. 社会福祉及び関連分野に関心をもち、将来それらの分野において活躍するために専門知識や技術を学ぶ意志をもつ人。
2. 自分と他者の関係を大切にし、コミュニケーション能力や倫理観を高めるための自己学修に意欲のある人。
3. さまざまなボランティア活動や社会貢献活動に積極的・主体的に参加し、実践能力を高めるための行動ができる人。
4. 人の幸せを進んで支援することに生き甲斐を感じることもできる人。

#### **(福祉健康学部・こども学科)**

##### アドミッション・ポリシー（入学者受け入れ方針）

こども学科では、乳幼児保育・幼稚園教育・小学校教育のスペシャリストの養成を目標にしています。具体的には、子どもを大切に育て、子どもの可能性を引き出すための基本姿勢を高めるとともに、子どもを取り巻く社会状況の変化に対応できる専門家として保育・教育支援ができる人材を育成します。こども学科では、次のような意欲と熱意をもった人を積極的に受け入れます。

1. 子どもの保育・教育に関心をもち、将来それらの分野において活躍するために専門知識や技術を学ぶ意志をもつ人。
2. よく見て、聞いて、自分で考える力、論理的思考力を高めるために努力する人。
3. 課題や目標に向けて積極的に挑戦し、継続しながら達成できる人。
4. 現代社会、社会状況に関心をもち、時代の変化に対応できる人。
5. 社会的常識をもち、協調的に物事に取り組もうと努力する人。

#### **(福祉健康学部・健康スポーツ科学科)**

##### アドミッション・ポリシー（入学者受け入れ方針）

健康スポーツ科学科では、現代社会における健康意識の向上とスポーツ実践の役割を認識し、身体活動を介した健康やスポーツを体系的に深く理解することにより、調和のある人間形成を図ります。更に「健康」「スポーツ」「教職」の3つを柱に、社会に貢献できる有能な職能人・教員・指導者や研究者の人材を育成します。健康スポーツ科学科では、次のような意欲と熱意をもった人を積極的に受け入れます。

1. スポーツや健康科学に強い興味と関心を持ち、自ら学ぼうとする意欲が旺盛な人。
2. 健康・スポーツ文化を発信するための能力や感性を身につけたいと考えている人。
3. 目的を段階的に捉え、成果に向けて努力・達成しようとする人。

#### **(看護学部・看護学科)**

##### アドミッション・ポリシー（入学者受け入れ方針）

「人間」「健康」「環境」「看護」の4つのコンセプトを柱に、教育内容の精選と効果的な教育方法

の創出をすすめ、将来の看護実践者・指導者・教育者・研究者としての人材を育成します。看護学科では、次のような意欲と熱意をもった人を積極的に受け入れます。

1. 他者の尊厳と権利を重んじ、人間を尊厳することのできる人
2. 保健・医療・看護・福祉分野に大きな夢と関心をもっている人で、物事に対して積極的に取り組む姿勢をもっている人
3. 相手のことばに耳を傾け、自分の考えを適切に表現し、コミュニケーションがとれる人
4. 社会の一員としての自覚と倫理観をもち、人の役に立ちたいと思っている人
5. 多様な価値観と異なる文化を理解し国際的視野で物事を考えることができる人

## 専攻科

### (助産学専攻科)

#### アドミッション・ポリシー（入学者受け入れ方針）

高度な専門知識と実践能力を身につけ、女性の生涯を通じた健康支援ができる助産師を育成する。

1. 家族にとっての大きなライフイベントである妊娠・分娩・育児を安全かつ自然な営みとして支援するための高度な知識と経験に基づいた技術をもった専門職
2. 母性看護の対象である全ての年代の女性の母性を健全に育成する役割を果たすことができる専門職
3. 一人の人間としての豊かな人間性と倫理観に裏付けられた感性を持つ専門職
4. 開業権を有する助産師として、将来地域で活躍するために必要とされる、確かな精神・技術・経験とグローバルな視点をもった専門職

## 大学院

### (経営学研究科 経営情報学専攻（修士課程）)

#### アドミッション・ポリシー（入学者受け入れ方針）

現代の社会・経済・経営環境は、変化が激しくかつ不確実です。そうした中で、グローバル化とともに ICT（情報通信技術）が高度な発展をみています。経営学研究科経営情報学専攻は、そうした社会・経済・経営環境に対応する、経営学、経営情報学および両者を学際的に統合した分野の、高度で豊かな学識と専門的調査研究能力を身につけた研究者、あるいは専門職業人を養成することを目的に掲げています。この目的を達成するために、学生の受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）を以下のとおり定め、広く国内外から学生を受け入れます。

1. 経営学、経営情報学に強い関心をもち、本専攻で学ぶために必要な学力を有し、自主的に研究する意欲のある人。
2. 経営学、経営情報学に関する専門知識と実践力を身につけ、研究者または専門職業人、あるいは地域社会の一員として活躍しようとする人。
3. 経営学、経営情報学を学際的に研究し、多角的視点から思考できる専門知識を身につけ、研究者または専門職業人、あるいは地域社会の一員として活躍しようとする人。

## （スポーツ健康科学研究科 スポーツ健康科学専攻（修士課程））

### アドミッション・ポリシー（入学受け入れ方針）

本研究科では、個人の健康・体力を科学し、生理メカニズムを追求するカリキュラム構成で、身体活動を中心とした医学的・心理的・生理的メカニズムの研究を行い、専門分野の知識を極めた将来の教育指導者を養成します。

大学院スポーツ健康科学研究では、医学、生理学、心理学、そして教育学など、健康科学や体力科学に関する学術基盤を背景に、子どもから中・高齢者にわたる健康と体力づくり、各種スポーツの競技力向上を念頭にいた教育・研究を行っている。将来、健康とスポーツを大きく牽引する研究者、教育者および指導者を養成することを目的とする。この目的を達成するため、下記に示すアドミッション・ポリシーを明示している。

ただ、ここに挙げたアドミッション・ポリシーは、学外に対して明確に周知されているとは云えない。大学院を受験する受験者が現れたとき、指導教員となる教員が受験生と面談する段階で、確認されることが恒例となっている。その背景としては、定員が 5 名であること、またその受験生が健康スポーツ科学科からの進学者によって構成されてきたこと、さらには受験生獲得を念頭にいた入試説明会などを実施していなかったことに起因する。しかし今後は、次年度の受験生募集に際して、大学ホームページにアドミッション・ポリシーを掲載する。

1. 健康とスポーツ、そして教育分野で活躍する具体的な将来ビジョンを有している人。
2. 仮説-検証プロセスに基づき、健康やスポーツ文化・活動を科学的に分析したいと希望する人。
3. これまでにない新しい価値の創造や可能性に挑戦したいという意志を有している人。

## （看護学研究科 看護学専攻（修士課程））

### アドミッション・ポリシー（入学受け入れ方針）

看護・医療の進歩と共に、専門知識の深化及び看護管理のために研究能力を高めることが、看護の実践現場には求められている。その要求に応えるため、看護管理者としてのマネジメント能力ならびにリーダーシップ能力を併せ持つ人材を育成する。

1. 看護学および保健医療福祉領域における研究に意欲を持つ人。
2. 健康問題を幅広い視野で総合的に捉え、新しい分野の開拓や理論の創出に意欲を持つ人。
3. 看護管理学・看護学教育領域および地域健康看護学領域の研究に自ら積極的に取り組み、社会に貢献する意欲を持つ人。

### ＜在学者数＞

平成 28 年 5 月 1 日現在の福山平成大学の在学者数は、表 2.1 に示しているとおおり 1,218 人である。

なお、平成 25 年度からは、学部の収容定員が 1,410 人から 1,360 人に変更になった。

### ＜社会人学生数＞

社会人受け入れの為の入試制度は、実施していません。

＜上記の他、学部、大学院、専攻科関係の情報についてはホームページをご参照ください。＞

## ＜就職及び進学状況＞

### 1) 就職指導体制

本学は開学以来「社会に貢献できる有為な人材」の教育・育成に力を注ぐとともに、学生の就職対策及び指導に全教職員が一丸となって取り組み、毎年 100%近い内定率を達成しています。具体的には、次の体制で学生の就職指導に当たっています。

- ①各学科に就職委員を配置するとともに、この委員で構成する『就職委員会』を全学機関として設置しています。そして、この就職委員会で就職指導方針及び指導方法を検討して、全学的な取り組みを行っています。
- ②この指導方針に基き、各学科のクラス担任教員が学生個々人の希望・能力・意欲・適性等に応じた指導を行っています。なお、学生個々人の進路希望・適性・就活進捗状況・指導内容等の情報は、学生総合支援システム（ゼルコバ）の『WEB 就職支援』へ登録することにより、クラス担任教員と就職課が情報の共有化を図れるようになっています。
- ③『就職課』は就職委員会の委員及び各クラス担任教員と緊密に連携しながら、学生総合支援システム（ゼルコバ）等を介して就職情報の提供を行ったり、学生の就職相談及び助言を行っています。加えて、ジョブサポータ及びキャリアカウンセラーの協力も得て、学生の個別相談に応じる体制を整えています。
- ④就職委員会では、4月頃から翌年の2月頃まで年間を通じて、基本的に毎週金曜日の4時限目に約30コマ3年生を中心に『就職ガイダンス』を開催しています。この中では、社会に出て働くという意味や動機付けを始め、企業講演会、適性検査、模擬面接、マナー講座等就職に係る各種のガイダンスを行っています。
- ⑤就職活動に於ける注意点等の詳細については、就職ガイダンスの中で3年生を対象に『就職の手引き』を別途配付し説明を行っています。

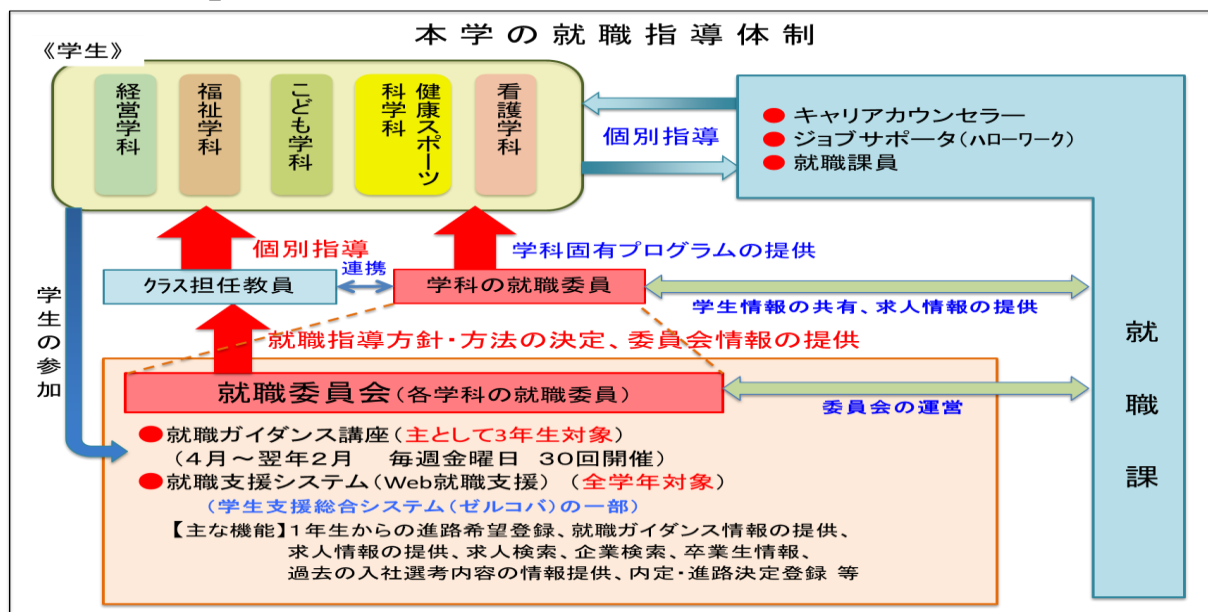


図4.1 就職指導体制

### 2) 平成27年度（第19期生）の就職状況

本学の就職内定率の推移は、開学以来常に95%を上回っており、本年度も最終内定率を

99.6%まで伸ばすことができました。

表 4.1 平成28年3月卒業生の就職状況

(平成28年5月1日現在 学校基本調査データ)

(単位:人)

学 科	卒 業 者 数	進 学 等	就職希望者数	就職決定者数	内定率 (%)
経 営	30	3	27	26	96.3
福 祉	25	0	25	25	100.0
こ ど も	45	3	42	42	100.0
健康スポーツ科	91	5	86	86	100.0
看 護	89	13	76	76	100.0
合 計	280	24	256	255	99.6

※進学等＝大学院・専門学校・専攻科等への進学、病気療養及び家事手伝い等

※内定率＝就職決定者÷就職希望者数

### 3) 卒業生の主な就職先 (学科別)

#### ●経営学科

##### 《一般企業》

(製造)	天野実業(株) キングパーツ(株) JFE スチール(株) 住友電気工業(株) (株)ツガミ 日東製鋼(株) ビッグボーン商事(株)
(運輸)	福山通運(株) 西部運輸(株) (金融)しまなみ信用金庫 両備信用組合 備後信用組合
(卸・小売)	(株)エブリイ 光和物産(株) (株)ザグザク (株)外林 トクショク(株) 名古屋製酪(株) (株)ハローズ (株)ブプレひまわり (株)本多 (株)ユーホー
(サービス)	(株)アクトシステムズ ツネイシビジネスサービス(株) (株)サカイ引越センター (株)福山臨床センター (株)ファーマシィ 他

##### 《公務員他》

自衛隊 消防署 広島県警 福山市役所 府中商工会議所 他
------------------------------

#### ●福祉学科

##### 《公務員他》

安芸郡府中町社会福祉協議会 徳島県社会福祉協議会 広島県警 広島県福祉事業団 広島県府中市社会福祉協議会 福山市役所 福山市北東部地域包括支援センター 他
--

##### 《福祉関係施設・事業所》

社福) あづみの森 社福) 一れつ会 医社) 駅家リハビリテーション SAKURA 社福) 翁仁会 (ほのぼの苑) 社福) 桜風会 (あいあい他) 社福) 尾道さつき会 社福) きのこグループ 社福) こぶしの村福祉会 医社) サンスクエア沼南 社福) ジョイトピアおおさ 社福) 静和会 社福) 宣山荘
--

社福) 創樹会 (福山六方学園) 社福) 春海会 医社) ひがしの会 社福) 広谷福祉会 (セイフティー信和)  
医社) ふぁみりい 社福) 福山福寿園 社福) 芙蓉の家 社福) 若菜 他

《民間福祉企業》

(株)QOL サービス (株)創心会 (株)ディア・レスト福山 (株)介護福祉サービスゆうゆう 他

《一般企業》

映クラ(株) 大田鋼管(株) (株)三和システム (株)JTB 西日本旅客鉄道(株) (株)ゆうとぴあセトウチ  
ユウベルグループ (平安閣) (株)天満電機産業 東京靴(株) (株)プブレひまわり (株)ブルーメイト 他

●こども学科

《保育園・託児所》

福山市立保育所 今治虎岳保育園 大門保育所 呉市立保育所 こどもの森グループ 千田西保育所 田尻保育園 手  
城保育所 寺岡整形外科病院託児所 童心園保育園 なかよし保育園 廿日市市立保育所 ひらの保育園  
まこと保育園 みどり保育園 わかば保育園 他

《幼稚園》

尾道市立吉和幼稚園 かなりや幼稚園 恵由幼稚園 すばる幼稚園 誠信幼稚園 天使幼稚園 松永幼稚園  
聖園幼稚園 他

《小学校》

姫路市立前之庄小学校 広島県立沼隈特別支援学校 福山市立駅家西小学校 福山市立深津小学校  
福山市立駅家東小学校 福山市立瀬戸小学校 他

《福祉施設》

社福) 一れつ会 社福) さくら福祉会 社福) ゼノ少年牧場 社福) 創樹海 (福山六方学園)  
児童養護施設 津田子供の家 社福) 春海会 他

《一般企業・その他》

キャステム(株) (株)くらコーポレーション 自衛隊 島根県警察 (株)スピングルカンパニー  
トモテツグループ (株)ファーマシー 福山市役所 やしまグループ 他

●健康スポーツ科学科

《一般企業》

ALSOK 山陰(株) (株)エービーシー・マート 愛媛銀行 (株)エフピコ (株)オンワード樫山 鹿児島信用金庫  
山陰合同銀行 (株)サンキ (株)ザグザグ JA 福山 JFE スチール(株) JFE 環境(株) しまなみ信用金庫  
セコム(株) 新広島ヤクルト販売(株) 玉島信用金庫 (株)玉造 テラル(株) (株)トマト銀行 名古屋製酪(株) (スジャータ)  
日本たばこ産業(株) 日本郵便(株) はるやま商事(株) (株)ヒマラヤ 広島電鉄(株) 福山臨床検査センター(株)  
(株)富士通マーケティング (株)プブレひまわり (株)御池鐵工所 三原農業協同組合 (株)ムラサキスポーツ  
(株)八杉商店 両備信用組合 (株)ロイヤルコーポレーション 他

《スポーツクラブ関係》

グンゼスポーツ(株) (株)さんびる (株)山陽レイスポーツ 広島市スポーツ協会 福山 YMCA スポーツセンター  
(株)フジ・スポーツ&フィットネス 府中市 B&G 海洋センター リョーコーテニスクラブ (株)ルネサンス 他

《公務員・学校》

英数学館小学校 岡山県警 岡山県立美作高校 自衛隊 消防局 神石高原町役場 比治山女子中学・高等学校  
広島県警 広島県教員(保健体育) 広島大学附属三原中学校 福山市役所 屋久島おおぞら高等学校 他

#### 《病院・福祉施設》

社福)一れつ会 駅家リハビリテーション SAKURA 大田記念病院 介護老人保健施設サンスクエア沼南 下永病院  
(株)創心會 社福)春海会エクセル韃の浦 医社)ひがしの会 飛翔会グループ 社福)緑寿会 他

### ●看護学科

#### 《国立大学法人、独立行政法人国立病院機構、主要公的医療機関、医療法人など》

東京大学医学部附属病院 大阪大学医学部附属病院 岡山医療センター 岡山大学病院 岡山市立総合医療センター  
尾道市立市民病院 がん研究会有明病院 川崎医科大学附属病院 倉敷中央病院 倉敷成人病センター 県立広島病院  
神戸市立医療センター中央市民病院 公立みつぎ総合病院 山陽病院 JA 尾道総合病院  
島根大学医学部附属病院 中国中央病院 寺岡記念病院 寺岡整形外科病院 東京大学医学部附属病院  
鳥取大学医学部附属病院 日本鋼管福山病院 脳神経センター大田記念病院 兵庫県立こども病院  
東広島医療センター 広島市立広島市民病院 広島赤十字・原爆病院 広島大学病院 広島通信病院  
福山市市民病院 福山医療センター マツダ病院 他

## 4) 各種の資格(学科別)

本学で取得できる資格は、次のとおりである。これらの資格を取得できるように、各学科で教育課程上の工夫や指導がなされている。

表 4.2 本学で取得できる資格

経営	経営	経営	高等学校教諭一種免許状(商業) 高等学校教諭一種免許状(情報) 文部科学省後援ビジネス能力検定ジョブパス/1~3級 日商簿記検定試験/1~3級 電子会計実務検定試験/2~3級 リテールマーケティング(販売士)検定試験/1~3級 経営学検定/初級 外務員資格(証券外務員) 診療報酬請求事務能力認定試験 秘書技能検定/2~3級 ICTプロフィシエンシー検定(P検)/2~3級 マイクロソフトオフィススペシャリスト(MOS) ITパスポート試験(国家試験) 基本情報技術者試験(国家試験) 応用情報技術者試験(国家試験) TOEIC HSK(漢語水平孝試)
		経営情報	

福祉健康	福祉	社会福祉 コース	社会福祉士（国家試験受験資格） 精神保健福祉士（国家試験受験資格） 保育士資格（国家資格） 高等学校教諭一種免許状（福祉） 福祉用具専門相談員 社会福祉主事（任用資格） 児童指導員（任用資格）
		介護福祉 コース	介護福祉士（国家資格受験資格） 社会福祉士（国家試験受験資格） 精神保健福祉士（国家試験受験資格） 高等学校教諭一種免許状（福祉） 福祉用具専門相談員 社会福祉主事（任用資格） 児童指導員（任用資格）
		資格取得 支援対象	介護職員初任者研修 認知症ライフパートナー 福祉住環境コーディネーター 診療報酬請求事務能力認定試験
	こども		保育士資格（国家資格） 幼稚園教諭一種免許状 小学校教諭一種免許状
	健康スポーツ科		中学校教諭一種免許状（保健体育） 高等学校教諭一種免許状（保健体育） 養護教諭一種免許状 健康運動実践指導者（受験資格） 日本体育協会 競技別指導員、競技別コーチ等 （受験資格）
看護	看護		看護師（国家試験受験資格） 保健師（国家試験受験資格） 高等学校教諭一種免許状（看護） 高等学校教諭一種免許状（保健） 中学校教諭一種免許状（保健） 養護教諭一種免許状

<上記の他、就職関係の情報についてはホームページをご参照ください。>

## 【5】授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画

本学の授業科目及び授業方法・内容については、紙媒体の学生便覧、電子媒体の授業時間割及びシラバスを学生に周知し、履修指導や修学指導を行っている。なお、年間の授業計画は、教務委員会から全学教授会に諮られ、全教員が承認のうえ、実施されている。この年間事業計画を「学年暦」と呼び、全学生に配布する。

表 5.1 平成 28 年度 学 年 暦 (授業計画)

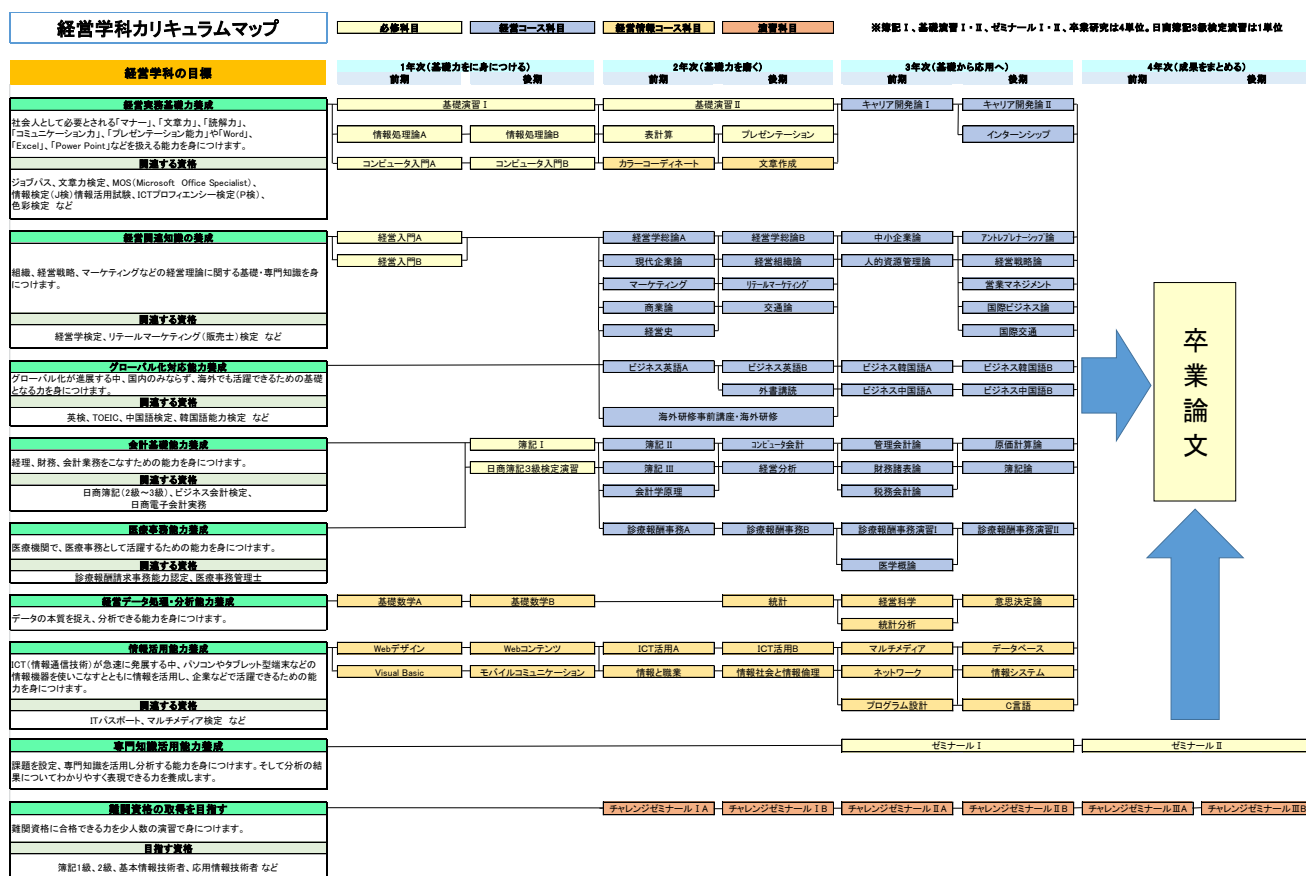
A・B 日 月 火 水 木 金 土												A・B 日 月 火 水 木 金 土											
A						B						A						B					
1						2						3						4					
4						5						6						7					
7						8						9						10					
10						11						12						13					
11						12						13						14					
12						13						14						15					
13						14						15						16					
14						15						16						17					
15						16						17						18					
16						17						18						19					
17						18						19						20					
18						19						20						21					
19						20						21						22					
20						21						22						23					
21						22						23						24					
22						23						24						25					
23						24						25						26					
24						25						26						27					
25						26						27						28					
26						27						28						29					
27						28						29						30					
28						29						30						31					
29						30						31											
30						31																	
31																							

※補講は、土曜日に実施します。

### <教育課程の編成方針>

各学部・各学科ともに、本学の“建学の精神”及び“大学の基本理念”に基づき、定められた学部の目的ならびに学科の目的を実現するため、教育課程を体系的に編成し、遵守するなかで、特色ある教育内容や方法を工夫・実践していることが分かる。次頁以降に学科・研究科毎に教育課程の概要を示す。

(経営学科)



### カリキュラム・ポリシー（教育課程編成方針）

1. 社会人として必要な豊かな人間性と社会性を育むため、1年次に多様な教養教育科目を学ばせる。さらに、2年次、3年次の専門教育科目にも上記関係科目を組み込み、継続した教育から実践力を身につけさせる。
2. ビジネスパーソンや産業人として活躍するために必要な専門教育科目は多岐にわたる。そうした専門教育科目を、科目間および基礎的科目と応用科目の関連性から、専門領域別に整理して、自らの興味と関心に応じて学習を深めさせる。
3. 現代のビジネスパーソンや産業人は、問題を発見し解決する能力やプレゼンテーションおよびコミュニケーション能力が求められるようになっている。そこで、そのために役立つ実習科目や演習科目、フィールドワーク、卒業論文等もカリキュラムの重要な柱と位置付け学習させる。

### ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与方針）

1. 豊かな人間性を支える多様な教養教育科目と専門教育科目を修得している。
2. ビジネスパーソンや産業人として働くうえで必要な経営関係分野の専門知識を身につけている。
3. 現代社会は ICT（情報通信技術）がきわめて大きな影響を及ぼすようになっていることを理解し、企業経営や地域活動に役立つ実践的な経営情報関係知識と技術を修得している。
4. 現代経済はグローバル化が進展し、変化が激しく、不確実性が増している。そうした環境変化に対応し、問題を発見し解決する能力や、他者と協力して課題解決に取り組む協調性やコミュニケーション能力を身につけている。

(福祉学科)

社会福祉コース

	1年生	2年生	3年生	4年生	ディプロマポリシー
	人間力を高める				
	福祉の価値・態度について学ぶ	知識・技術を習得	専門性を高める	職業人の育成	
人間と社会の理解	社会福祉論Ⅰ・Ⅱ ボランティア活動論 ボランティア活動演習 社会理論と社会システムⅠ・Ⅱ				① ③ ⑤
心と体の仕組み	心理学理論と心理的支援Ⅰ・Ⅱ こころとからだのしくみⅠ	こころとからだのしくみⅡ 認知症の理解Ⅰ	人体の構造と昨日及び疾病Ⅰ・Ⅱ 保健医療サービス 精神保健学Ⅰ・Ⅱ 精神医学Ⅰ・Ⅱ		① ⑤
情報／分野／保育士	精神保健に関する制度とサービスⅠ・Ⅱ 情報処理論ⅠA・ⅠB	地域福祉論Ⅰ・Ⅱ 福祉行政と福祉計画 福祉サービスの組織と経営 社会保障論Ⅰ・Ⅱ 老人福祉論Ⅰ・Ⅱ 介護概論 障害者福祉論Ⅰ・Ⅱ 児童福祉論Ⅰ・Ⅱ 公的扶助論Ⅰ・Ⅱ 就労支援サービス 権利擁護と成年後見制度 更正保護制度 精神障害者の生活支援システム	保育原理 教育原理 社会的擁護 教職概論 保育の心理学 子どもの保健 保育内容総論 保育内容Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ 障害児保育 音楽Ⅰ・Ⅱ 体育Ⅰ 図画工作Ⅰ 保育実習指導		① ② ④ ⑤
方法技術	社会福祉援助技術総論Ⅰ・Ⅱ	社会福祉援助技術各論Ⅰ・Ⅱ 社会調査の基礎 精神保健福祉相談援助の基盤(専門)	精神保健の理論と相談の関Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ 社会福祉援助技術各論Ⅲ・Ⅳ		② ③ ④ ⑤
演習	基礎演習 社会福祉援助技術演習Ⅰ・Ⅱ	社会福祉援助技術演習Ⅲ・Ⅳ	専門演習Ⅰ 社会福祉援助技術演習Ⅴ 精神保健福祉援助演習Ⅰ・Ⅱ	専門演習Ⅱ カウンセリングⅠ・Ⅱ	③ ④ ⑤
実習		社会福祉援助技術現場実習指導Ⅰ・Ⅱ	社会福祉援助技術現場実習指導Ⅲ 社会福祉援助技術現場実習 精神保健福祉援助実習指導Ⅰ	精神保健福祉援助実習指導Ⅱ・Ⅲ 精神保健福祉援助実習	③ ④ ⑤

※全科目ではなく、主なものを挙げています

介護福祉コース

	1年生	2年生	3年生	4年生	ディプロマポリシー
	人間力を高める				
	福祉の価値・態度について学ぶ	知識・技術を習得	専門性を高める	職業人の育成	
人間と社会の理解	社会福祉論Ⅰ・Ⅱ ボランティア活動論 ボランティア活動演習		社会理論と社会システムⅠ・Ⅱ		① ③ ⑤
心と体の仕組み	心理学理論と心理的支援Ⅰ・Ⅱ 認知症の理解Ⅰ	認知症の理解Ⅱ こころとからだのしくみⅠ・Ⅱ	人体の構造と機能及び疾病Ⅰ・Ⅱ 精神医学Ⅰ・Ⅱ 医療的ケアⅠ・Ⅱ	医療的ケアⅢ	① ⑤
情報／分野	情報処理ⅠA・ⅠB 老人福祉論Ⅰ・Ⅱ 介護福祉学Ⅰ・Ⅱ	社会保障論Ⅰ・Ⅱ 障害者福祉論Ⅰ・Ⅱ 児童福祉論Ⅰ・Ⅱ リハビリテーション論 リスクマネジメント論 介護過程Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	地域福祉論Ⅰ・Ⅱ 福祉行政と福祉計画 福祉サービスの組織と経営 介護概論 公的扶助論Ⅰ・Ⅱ 就労支援サービス 権利擁護と成年後見制度 更正保護制度 精神障害者の生活支援システム 介護過程Ⅴ		① ② ④ ⑤
方法技術	社会福祉援助技術論 余暇生活支援法Ⅰ	社会福祉援助技術総論Ⅰ・Ⅱ 余暇生活支援法Ⅱ コミュニケーション技術Ⅰ・Ⅱ	社会福祉援助技術各論Ⅰ・Ⅱ 社会調査の基礎	社会福祉援助技術各論Ⅲ・Ⅳ	② ③ ④ ⑤
演習	基礎演習 介護支援技術Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	社会福祉援助技術演習Ⅰ・Ⅱ 生活援助技術Ⅰ・Ⅱ・Ⅴ・Ⅵ	専門演習Ⅰ 社会福祉援助技術演習Ⅲ・Ⅳ 生活援助技術Ⅲ・Ⅳ	専門演習Ⅱ 社会福祉援助技術演習Ⅴ カウンセリングⅠ・Ⅱ	③ ④ ⑤
実習	介護実習指導Ⅰ・Ⅱ 介護実習Ⅰ	介護実習指導Ⅲ 介護実習Ⅱ	介護実習指導Ⅳ 介護実習Ⅲ 社会福祉援助技術現場実習指導Ⅰ・Ⅱ	社会福祉援助技術現場実習指導Ⅲ 社会福祉援助技術現場実習	③ ④ ⑤

※全科目ではなく、主なものを挙げています

## カリキュラム・ポリシー（教育課程編成方針）

### 福祉学科カリキュラムポリシー

社会福祉の根底にある理念や哲学（価値、態度）、社会福祉の政策・制度論（知識）、および援助方法（技能）に関する科目と、人間力（知力、実践力、気力、体力、コミュニケーション力）を高め、社会で活躍しうる職業人を育成することを目的とする科目を配置する。

また、実習・演習科目を重視し、1年次生から4年次生まで系統的に実習できるように科目を配置し、児童・障害者・高齢者、精神保健福祉の諸施設、公的機関、民間福祉団体等で実習することにより、必要な知識、態度、技能を身につける。

### 具体的な到達目標

福祉学科ディプロマポリシーを踏まえ、到達目標を設定する。

- （1）社会福祉コースでは、社会福祉士国家試験受験資格を取得するための指定科目が配置されたカリキュラム（教育課程）とする。介護福祉コースでは、介護福祉士国家試験受験資格を取得するための指定科目が配置されたカリキュラムとする。
- （2）少人数教育を重視し、1年次から4年次までの「基礎演習」「専門演習Ⅰ」「専門演習Ⅱ」と一貫したカリキュラムを編成し、基礎から研究までの連続性を重視する。
- （3）福祉関係国家試験受験資格（社会福祉士、精神保健福祉士、介護福祉士）を取得する。
- （4）健康・医療・福祉に関連する外部業界団体認定諸資格取得を支援する。
- （5）学生が在学中に自らの専攻、将来のキャリアに関連した就業体験を行うインターンシップを実施する。

## ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与方針）

### 福祉学科ディプロマポリシー

1. 現代社会の諸問題と社会福祉の基本的な構造や機能、また人間の行動と社会システムに関する知見について理解できるようになる。（知識・理解）
2. 福祉現場で生じているさまざまな課題について論じ、適切な対応を考えることができる。（思考・判断）
3. 人権と社会正義の原理に基づく社会福祉の援助観を理解し、福祉サービス利用者の置かれている状況を共感できるようになる。（態度）
4. 社会福祉の援助方法を理解し、現代社会に直面する社会問題を解決する援助者（ソーシャルワーカー、ケアワーカー、精神科ソーシャルワーカー）としての専門的技能を身に付ける。（技能）
5. 実践を省察し、自己の学習課題を明確にし、理論と実践を結びつけた学習ができる。（関心・意欲）

(こども学科)

	1 年 生	2 年 生	3 年 生	4 年 生	ディプロマ・ポリシー	
	保育・教育について学ぶ	知識・技術を習得	それぞれの専門をめざして	専門性を究める		
専門基礎科目	社会福祉ボランティア活動論 ボランティア活動演習				① ④	① 理解力
保育の本質/ 目的	保育原理 教職概論 社会的養護 教育原理	社会的養護Ⅱ	幼児保育システム論 幼児保育と社会		① ④	
保育の 対象理解		教育心理学 家庭支援論 子どもの食と栄養	保育の心理学 子どもの保健Ⅰ・Ⅱ		① ④	
心理学/ 医学/ 福祉/ 情報	心理学概論 介護概論 情報処理ⅠA・ⅠB	発達心理学Ⅰ・Ⅱ 児童家庭福祉 地域福祉論 障害者福祉論	臨床心理学 精神保健学Ⅰ・Ⅱ		① ④	
保育の 内容/ 方法	幼児児童教育課程論 保育内容総論 保育内容Ⅰ(環境) 乳児保育Ⅱ	保育内容Ⅱ(言葉) 保育内容Ⅲ(健康) 保育内容Ⅳ(人間関係) 保育内容Ⅴ(表現) 乳児保育(演習) 保育指導法 社会的養護内容 障がい児保育			① ② ④	② 実践力
基礎技能/ 表現	音楽Ⅰ 体育Ⅰ ピアノ入門 ピアノ初級	音楽Ⅱ 体育Ⅱ 図画工作Ⅰ ピアノⅠ・Ⅱ	図画工作Ⅱ ピアノⅢ(弾き歌い) ピアノⅣ(合奏) 幼児の描画理解とその指導	ピアノⅤ(応用)	② ④	
教育専門/ 教職科目	初等国語Ⅰ 初等社会 初等算数Ⅰ 初等理科 生活研究 幼児児童理解	初等国語Ⅱ 初等算数Ⅱ 初等家庭 初等教科教育法 (国語・算数・理科・ 社会・音楽・家庭・ 図工・体育・生活) 道徳教育 特別活動論 幼児児童教育方法・技術論	初等教科教育法(英語) 初等英語教材研究 比較教育制度論(初等) 教育相談		② ③ ④	
実習/ 総合演習		保育実習a(保育所) 保育実習b(施設) 保育実習指導a(保育所) 保育実習指導b(施設)	教育実習Ⅰ(幼稚園) 教育実習Ⅱ(幼・小) 教育実習Ⅲ(小学校) 相談援助 保育相談支援 こども実務演習A・B	保育実習Ⅱ・Ⅲ 保育実習指導Ⅱ・Ⅲ こども実務演習C 教職実践演習	② ③ ④	
演習	基礎演習Ⅰ	基礎演習Ⅱ	専門演習Ⅰ 卒業	専門演習Ⅱ 研究	③ ④	④ 人間力

カリキュラム・ポリシー (教育課程編成方針)

こども学科では、乳児から児童まで一貫して支援・教育を行える人材を養成するために必要な科目を開講する。

ディプロマ・ポリシーで設定した4つの力を育成するための教育課程を編成している。また、4年間で段階的に理論や技術を習得し、それぞれの専門性を高めることのできるカリキュラムを設定している。

1年次では保育・教育実践の基礎となる知識に関しての理解を深めることに重点を置いている。

2年次では保育・教育にかかわる基礎技能を身につけた上で、段階的に実践へと発展させ、3年次で

は実習や活動に基づいた応用力や専門力を高め、最終的に、4年次では各自の専門分野における保育・教育現場で応用可能な実践力と専門性を身につけることをめざしている。実施にあたっては、段階的に体験する実習によって理論と実践の融合をめざし、4年間ピアノ教育によって技術力や表現力を高める支援とともに、少人数ゼミによる基礎演習や専門演習で専門性を究める支援を行っている。なお、こども学科では、保育士資格、幼稚園教諭一種免許状、小学校教諭一種免許状を取得することができる。

#### ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与方針）

こども学科では、所定の単位を修得し、以下の4つの力を備えた者に対して卒業を認定し、学士（こども学）の学位を授与する。

1. 子どもの発達・心理・環境及び保育・教育に関する理解力。
2. 子どもの生きる力につながる表現領域と可能性を育成する実践力。
3. 様々な課題に対して自分で考えることのできる論理的な思考力。
4. 幅広い社会的常識を身に着け、協調的に取り組むことのできる人間力。

## (健康スポーツ科学科)

	1年生		2年生		3年生		4年生		デュプロマポリシー
	実践からのスポーツ再発見		実践と理論のスパイラル省察		問題解決への専門的アプローチ		問題・課題解決		
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
専門基礎科目	健康管理概論 身体機能解剖学	スポーツ生理学	スポーツ心理学	スポーツ社会学					①
演 習	基礎演習				専門演習Ⅰ 保健体育教員教育実践演習 保健教育演習	専門演習Ⅰ Sports Medicine Seminar スポーツ施設演習 スポーツ企業情報演習 保健体育教員情報演習	専門演習Ⅱ(卒業研究)	専門演習Ⅱ(卒業研究)	② ③
健康・スポーツ	アスレティック・トレーナー演習 海外事例研究 スポーツ史	体力トレーニング科学 運動・スポーツ指導方法論 スポーツ原論	健康スポーツ実習Ⅰ 体力測定評価 救急処置 救急処置実習 臨床スポーツ実習 アスレティック・トレーニング 体力トレーニング科学演習 スポーツ運動学Ⅰ 運動生理学 コーチング スポーツ栄養学 スポーツプロモーションⅠ	運動処方論 スポーツ生化学 アスレティック・リハビリテーション スポーツ運動学Ⅱ スポーツ心理学演習 メンタルトレーニング方法論 コーチング スポーツ文化論 スポーツプロモーションⅡ	運動処方演習 健康運動のプログラミング 健康心理学 メンタルトレーニング演習 コーディネーション科学	健康運動指導演習 救急法技法 コンディショニング科学 スポーツ施設管理運営論	スポーツ指導実践演習	① ② ③	① 知識・理解能力 ② 技能・実践能力 ③ 思考・人間力
健康・スポーツ 実践・演習	スポーツ実践演習(陸上競技) スポーツ実践演習(テニス) スポーツ実践演習(バスケットボール) スポーツ実践演習(エアロビクス/ダンス) スポーツ実践演習(野球) スポーツ実践演習(ソフトボール) スポーツ実践演習(トレーニングA)	スポーツ実践演習(陸上競技) スポーツ実践演習(サッカー) スポーツ実践演習(バレーボール) スポーツ実践演習(バスケットボール) スポーツ実践演習(リズム・エクササイズ) スポーツ実践演習(器械体操) スポーツ実践演習(トレーニングB)	健康運動演習Ⅰ(エアロビクス/ダンス) 臨海指導実践演習(水泳) スポーツ実践演習(水泳) 体育実践演習(武道) 体育実践演習(器械体操) 健康スポーツ実技Ⅰ(体育) 生涯スポーツ実技Ⅰ(体育)	健康運動演習Ⅱ(有酸素運動) 健康運動演習Ⅲ(水中運動) 体育実践演習(水泳) 体育実践演習(武道) 体育実践演習(器械体操) 健康スポーツ実技Ⅱ(体育) 生涯スポーツ実技Ⅱ(体育)	野外実践演習(アウトドアスポーツ)	野外実践演習(ウィンタースポーツ)		② ③	
情報関連	情報処理ⅠA	情報処理ⅠB	健康スポーツ情報処理演習	健康スポーツ情報処理演習	健康スポーツ情報解析演習	健康スポーツ情報解析演習			① ③
福 祉	社会福祉原論Ⅰ 心理学概論Ⅰ	社会福祉原論Ⅱ 心理学概論Ⅱ	障害者福祉論Ⅰ NPO論 精神保健学Ⅰ	障害者福祉論Ⅱ 介護概論 精神保健学Ⅱ	医学一般Ⅰ	医学一般Ⅱ			① ③ ④
教員養成・教職科目	保健看護学 学校保健 保健体育科教育法Ⅰ	保健体育実習Ⅰ(教職入門) 学校保健 保健体育科教育法Ⅰ	衛生学・免疫学 保健体育科教育法Ⅱ 学校看護学 看護学実習	保健体育科教育法Ⅲ 看護概論 健康相談活動	保健体育実習Ⅱ 実習指導	公衆衛生学 実習指導 教育実習	教育実習	保健体育科教育法Ⅳ 教職実践演習	② ③

(健康スポーツ科学科のデュプロマ・ポリシー)  
 ① 健康・スポーツ科学の専門知識を修得し、健康の必要性や大切さ及びスポーツの魅力や可能性を伝えることができる人材  
 ② 視野が広く、目配り・気配りができる人材  
 ③ 人と人をつなぐことができる人材

## カリキュラム・ポリシー（教育課程編成方針）

- 1年次：実践からのスポーツ再発見。（ギャップの確認）
- 2年次：実践と理論のスパイラル省察。（問題や課題を自覚しながら工夫する演習）
- 3年次：問題・課題解決への専門的アプローチ。（ゼミ色を活かした取り組み）
- 4年次：問題・課題解決。（卒業論文・就職）

## デュプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与方針）

1. 健康・スポーツ科学の専門知識を修得し、健康の必要性や大切さ及びスポーツの魅力や可能性を伝えることができる。
2. 視野が広く、目配り・気配りができる。
3. 人と人をつなぐことができる。

(看護学科)

学年	1年時次	2年次	3年次	4年次	
特性	人間についてよく知る	知識・技術を修得	それぞれの専門をめざして課外授業での経験を積む	専門性を究めて将来目標を定める	
個性・キャリア・コミュニケーション（卒業生目標）	専門的な学習に備え、看護や看護学を基本理論と人・体・心・食に関する知識を身につけます。	1年で身につけた基礎をもとに、看護を必要とする人々の状態に応じた看護方法を学び、対象者との接し方や立場を考えた看護を実践します。	ライフサイクルに応じた対象者の健康レベルを捉えた看護援助を学び、看護実践で知識・技術を身につけます。	看護専門職としての倫理性を高め、看護ケアコーディネート、マネジメントを実践し、看護の発展に寄与する能力を身につけます。	
人間と健康	人間と健康				
	<div>一般教養</div> <div>ロスポーツ科学実践 ロ言語発達論 ロボランティア活動論 ロ芸術（音楽A・B） ロコミュニケーション論 ロ国語表現法</div> <div>専門基礎分野</div> <div>■身体のしくみ ■身体の働き ■栄養と代謝 ■生命倫理学 ■健康管理論</div> <div>一般教養</div> <div>□哲学 □心理学</div> <div>統合分野</div> <div>■公衆衛生看護学概論</div>				
生活と環境	生活と環境				
	<div>一般教養</div> <div>□法学 □経済トピックス □メディア言語論 ■情報処理論Ⅰ</div> <div>■食生活論 ■社会福祉・社会保障論</div> <div>専門基礎分野</div> <div>□居住環境論 ■保健医療福祉行政論 ■環境保健学</div> <div>一般教養</div> <div>■疫学 ■保健統計論</div> <div>統合分野</div> <div>□国際援助と保健資源 □災害看護論</div>				
看護活動	看護活動				
	<div>専門基礎分野</div> <div>■援助の人間関係論 ■病態と治療</div> <div>専門分野</div> <div>■基礎看護学実習Ⅰ ■看護過程論 ■基礎看護学実習Ⅱ ■リスクマネジメント</div> <div>■臨床心理学 ■学校保健</div> <div>統合分野</div> <div>■総合看護学演習</div>				
総合	総合				
	<div>一般教養</div> <div>□日本国憲法 □倫理学 ■英語</div> <div>□中国語 □フランス語 □ドイツ語</div> <div>統合分野</div> <div>■看護研究（ゼミⅠ）</div>				
教職課程		■道徳教育論 ■教育心理学 ■教職概論 ■教育原理 ■生徒指導	■教育相談 ■教育方法論 ■教育課程論 ■特別活動論	■保健科教育法Ⅳ ■看護科教育法Ⅰ ■看護科教育法Ⅱ ■比較教育制度論	■教育実習指導 ■看護実習指導 ■教育実習Ⅰ ■教育実習Ⅱ
教育保健課程			■公衆衛生看護技術論Ⅰ ■公衆衛生看護技術論Ⅱ ■公衆衛生看護技術論Ⅲ ■公衆衛生看護管理論	■公衆衛生看護活動論Ⅰ ■公衆衛生看護活動論Ⅱ ■公衆衛生看護活動論Ⅲ	■公衆衛生看護学実習

■必修 □選択

## カリキュラム・ポリシー（教育課程編成方針）

1. 専門的な学習に備え、看護や看護学を基本理論とし、人・体・食に関する知識を身につける。
2. 1年次で身につけた基礎をもとに、看護を必要とする人々の状態に応じた看護方法を学び、対象者との接し方や立場を考えた看護を実践する。
3. ライフサイクルに応じた対象者の健康レベルを捉えた看護援助を学び、看護実践で知識・技術を身につける。
4. 看護専門職としての倫理性を高め、看護ケアコーディネート、マネジメントを実践し、看護の発展に寄与する能力を身につける。

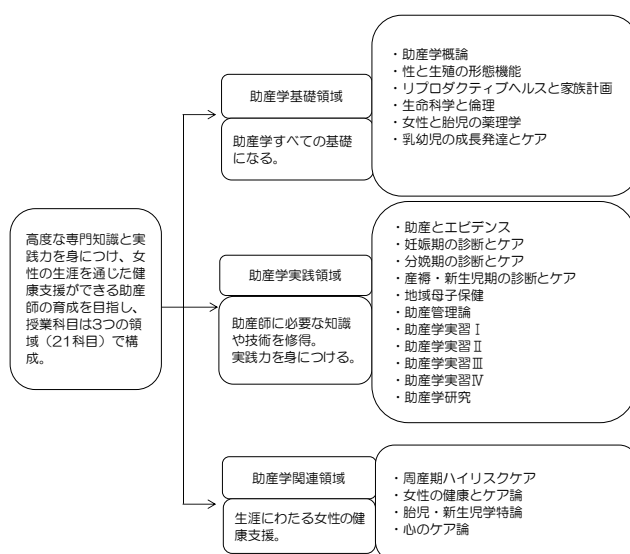
## ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与方針）

高い倫理観に裏付けされた感性を持ち、人間と環境を愛し、看護学の発展、国民の健康増進及び社会福祉に貢献しうる人材を育成する。この目標に沿って、設定した授業科目を履修して、基準となる単位数を修得した者に卒業を認定し、学士（看護学）の学位を授与する。

### （専攻科）

#### 助産学専攻科

#### <助産学専攻科カリキュラムマップ>



助産学専攻科は、高度な専門知識と実践力を身につけ、女性の生涯を通じた健康支援ができる助産師を育成します。

妊娠・分娩・育児を安全かつ自然な営みとして支援する為、高度な知識と経験に基づいた技術を持つ助産師の育成。全ての年代における女性の母性を健全に育成する役割を果たす助産師の育成。一人の人間としての豊かな人間性と倫理観に裏付けられた感性を持つ助産師の育成。地域で活躍するために必要とされる確かな精神・技術・経験とグローバルな視点を持った助産師を育成します。

### カリキュラム・ポリシー（教育課程編成方針）

高度な専門知識と実践力を身につけ、女性の生涯を通じた健康支援ができる助産師を育成するために、次のような方針でカリキュラムを編成している。

1. 助産学基礎領域では、女性の生涯を通じて、性と生殖に焦点を当てて支援する助産の基礎を学ぶ。
2. 助産学実践領域では、妊産褥婦および新生児とその家族を支援する助産実践に必要な基本的技術を学ぶとともに、助産学の発展に寄与するための研究方法について学ぶ。さらに、助産学実習を通して最新の周産期医療に触れ、最新の技術を修得し、実践力を高め、保健・医療・福祉関係者との連携・協働、地域母子保健、助産師の役割、助産管理について学ぶ。
3. 助産学関連領域では、生涯にわたる女性の健康支援のための方法やリプロダクティブ・ヘルスについて学ぶ。

### ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与方針）

助産学専攻科では、以下のような能力を身につけ、かつ所定の単位を取得した学生は、卒業（修了）が認定される。（助産師国家試験受験資格を与える）

1. 助産の専門知識と実践力を身につけ、助産師としての基礎的能力を身につけた学生
2. 豊かな人間性と倫理的感応力を培い、助産師としての役割、責任を果たす能力と思いやりのある心を持った学生
3. 高度化する周産期医療に対応し、地域社会の母子保健の発展に寄与する能力を身につけた学生
4. 助産師の責務と役割を自覚し、専門職業人として、生涯に亘り自己の資質の向上に努めることができる学生

### （大学院）

#### 経営学研究科〔経営情報学専攻（修士課程）〕

現代の社会・経済・経営環境は、変化が激しくかつ不確実です。そうした中で、グローバル化とともに ICT（情報通信技術）が高度な発展をみています。経営学研究科経営情報学専攻は、そうした社会・経済・経営環境に対応する、経営学、経営情報学および両者を学際的に統合した分野の、高度で豊かな学識と専門的調査研究能力を身につけた研究者、あるいは専門職業人を養成します。

### カリキュラム・ポリシー（教育課程編成方針）

本経営情報学専攻では、経営学、経営情報学および両者を学際的に統合した分野の、専門知識と課題探究・解決能力を体系的に身につけるために、以下を柱として教育課程を編成しています。

1. 経営学分野では経営学・商学・会計学系、経営情報学分野では情報システム・経営科学・プログラミングなど先端情報技術系を中心に、理論的・実践的科目を配置し、きめ細かな研究指導体制により、経営学、経営情報学および両者を学際的に統合した分野の体系的な専門知識の習得を目指します。
2. 上記の専門知識の習得のうえにケース・スタディ研究などを活用し、企業など組織体あるいは地

域社会における課題の探究・解決能力を体系的に身につけることを目指します。

3. 以上の成果として、当該分野の専門知識と研究手法に基づいて修士論文の作成を行います。

#### ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与方針）

本経営情報学専攻では、修士課程修了までに学生が身につけるべき知識と能力を、修士（経営情報学）の学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）として以下のとおり定めます。

経営学、経営情報学に関する高度な専門知識を有し、自ら設定した課題を探究し、それを論理的に分析、解決する能力を備える。そのうえで、次のいずれかの能力を有する。

1. 経営学、経営情報学および両者を学際的に統合した分野で、自立した研究者を目指して博士後期課程に進学できる能力。
2. 経営学、経営情報学および両者を学際的に統合した分野の専門知識を有する専門職業人として活躍するために必要な能力。
3. 本専攻で修得した経営学、経営情報学および両者を学際的に統合した分野の専門知識を活かし、幅広い視点から地域社会の課題を把握・分析し、方向性を提示できる能力。

#### **スポーツ健康科学研究科〔スポーツ健康科学専攻（修士課程）〕**

本研究科では、ヒトの健康・体力に関する科学をベースに、競技力向上にも及ぶ医学、生理学、心理学、教育的メカニズムや反応などを追求する。こどもから高齢者に至までの健康と体力づくり、さらに、有限のスポーツ生命の中でいかにして競技力を向上させることができるかを念頭においた、教育・研究を行い、将来の研究者、教育者および指導者につながる人材を養成する。

また、体育科教育学、養護教育学を通じて、実用性のあるカリキュラム開発を可能とするような保健体育および養護教育の専門的指導者の養成にも取り組む。

#### カリキュラム・ポリシー（教育課程編成方針）

健康とスポーツ分野に関する過去と現在の学間的系譜を理解し、次世代に向けての可能性を示唆できる高度専門職業人の育成を目的に、次の方針を示し、教育課程を編成します。

1. 健康とスポーツに関する広範で多様な知識を背景に、応用的・発展的な思考の獲得を目指します。
2. 各講義や演習を通じて、既習知識の活用能力、批判的・論理的思考能力、課題探究・課題解決能力、表現・コミュニケーション能力を備えた健康・スポーツの指導的な人材を育成します。
3. 少人数教育による双方向授業や実験・調査・事例研究などを組み入れ、実践的で生きた柔軟な授業を実施します。

#### ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与方針）

本研究科を修了後も、時代とともに健康やスポーツに求められる価値は変化します。本研究科で習得した知識やスキルに固執・安堵することなく、常に時代の流れの先にある文脈を読み解き、さらには新奇な知識を積極的に吸収し、発信できる人材が必要です。よって本研究科の修了者には、下記のような能力の定着を求めています。

1. 現代社会の疾病構造変化に対応した専門職としての健康・運動指導者の養成

2. 豊富なスポーツ健康科学に知識を備えた保健体育・養護教諭の養成

3. 一般企業における健康・体力づくりに対応するプロモーター養成

## 看護学研究科〔看護学専攻（修士課程）〕

本研究科では、少子超高齢化社会における看護専門職としての社会的責任を果たすため、医療の場を含む生活の場で必要とされる人々の QOL 向上を目指し、生活者の視点で広範、多様化する健康社会を支える高いレベルの実践能力と倫理観を備えた看護専門職を育成します。

## カリキュラム・ポリシー（教育課程編成方針）

1. 看護管理学・看護学教育領域：看護専門職として根拠に基づく看護実践を行い、継続した研究と生涯教育を実践すると同時に、医療・教育現場でリーダーシップを発揮し、問題解決能力を有する看護実践者・看護管理者・看護教育者を育成。
2. 地域健康看護学領域：看護専門職として根拠に基づく地域の看護実践を行い、継続した研究と生涯教育を実践すると同時に、地域住民の心身の健康づくりに寄与できるよう、地域健康看護学を身に付けた看護実践者を育成。



## ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与方針）

1. 人間の尊厳とアドボカシーの志向に根差し、看護活動の広範化・多様化に応じ、高いレベルの看護実践能力と倫理観を備えた人材の育成
2. 根拠に基づいた看護を展開でき、研究成果を看護の現場に還元することができる人材を育成
3. 看護専門職の育成に関する諸問題を考察できる研究的な視点を持った優れた看護実践者・看護教育者・看護管理者を育成

## 【6】学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準

### ＜成績評価＞

授業形態が講義、演習、実習及び実技の場合は、2/3 以上を出席し、試験・レポートの提出等の方法で学期毎に、平成 24 年度入学生から、秀（100～90 点）、優（89～80 点）、良（79～70 点）、可（69～60 点）、不可（59 点以下）の 5 段階で評価している。再試験を行う場合もある。

## ＜進級・卒業要件＞

年次別履修科目の上限及び進級・卒業要件は、各学部・各学科ともに「福山平成大学授業科目履修細則」で規定されており、全学教授会において進級・卒業判定を行なっている。また、1年間に履修できる単位数は、各学年いずれもが、前期と後期を合わせて50単位を超えることはできないし、学期毎（前期・後期）の履修上限は30単位と定められている。

本学の教育課程は、一般教育科目と専門教育科目に大別される。一般教育科目は、4年間で教養基礎科目及び外国語を含めて、24単位である。専門教育科目は、各学部で異なり、100～110単位である。各学年の進級要件を満たさないものは留年とし、在学中2回を超える留年及び同一年次に2回の留年は認められていない。

表 6.1 経営学部 経営学科

年 次		1	2	3	4
年次別必要単位数		32	64	100	134
一般 教育 科目	教養基礎科目 (体育科目を含む)	8		12	12
	外国語科目	8		12	12
	小 計	8	16	24	24
専 門 教 育 科 目		24	48	76	110

表 6.2 福祉健康学部 福祉学科・こども学科・健康スポーツ科学科

年 次		1	2	3	4
年次別必要単位数		30	56	88	124
一般 教育 科目	教養基礎科目 (体育科目を含む)	8		12	12
	外国語科目	8		12	12
	小 計	8	16	24	24
専 門 教 育 科 目		22	40	64	100

表 6.3 看護学部 看護学科

年 次		1	2	3	4
年次別必要単位数		32	70	110	128
一般教 育科目	教養基礎科目	24			
専 門 教 育 科 目		24	57	96	104

＜上記の他、学部、大学院、専攻科の概要等についてはホームページをご参照ください。＞

## 【7】校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

### ＜施設設備＞

本学の校地は次図に示すとおり 80,652, 28 m<sup>2</sup>であり、校舎の床面積は 34, 106, 00 m<sup>2</sup>である。



図 7.1 本学のキャンパス全体図

- 1) 運動場は、全天候型のウレタン舗装 400mトラック 6 レーンとインフィールドに人工芝のサッカー場を備え、トラックの周辺には、棒高跳び、ビーチバレーボール用の砂場等が整備されている。更に夜間でも使用可能なように、4 基の照明を設置している。
- 2) 体育館は第 1、第 2 と二つあり、第 1 体育館は運動場と武道館・クラブハウス棟（10 号館）に、第 2 体育館はトレーニングルーム等のある 7 号館にそれぞれ隣接している。特に、第 2 体育館は、国際大会に公式使用できるバレーボールコートが 2 面取れるようになっており、他にゲーム用バレーボール 3 面、バスケットボール 2 面、ハンドボール 1 面、フットサル 1 面、バドミントン 8 面が兼用コートとして使用可能である。さらに、第 2 体育館の玄関ホールには、クラ

イミングウォールが設置され、2階には、器械体操（鉄棒、あん馬やつり輪等）、卓球、ボクシングジムの施設も整備されている。また、人工芝の夜間照明付きテニスコート4面、柔道・剣道専用の武道館がある。

- 3) 講義室は、3、4、7号館の講義棟に16室、看護棟に5室、図書館に2室の計23室を設置している。また、実習室は、2号館・看護棟に10室、こども学科棟に15室（ピアノレッスン室を含む。）の計25室を、ゼミ・演習室は、1・2号館と看護棟に12室を整備している。

平成28年3月には、2号館ゼミ室をアクティブラーニングに相応しい学修環境に整備を行い、学生が主体的に自己学修、ディベートやプレゼンテーションが出来る柔軟に対応するスペースとして多様な形態に展開できる机・椅子類と電子ホワイトボードを整備した。

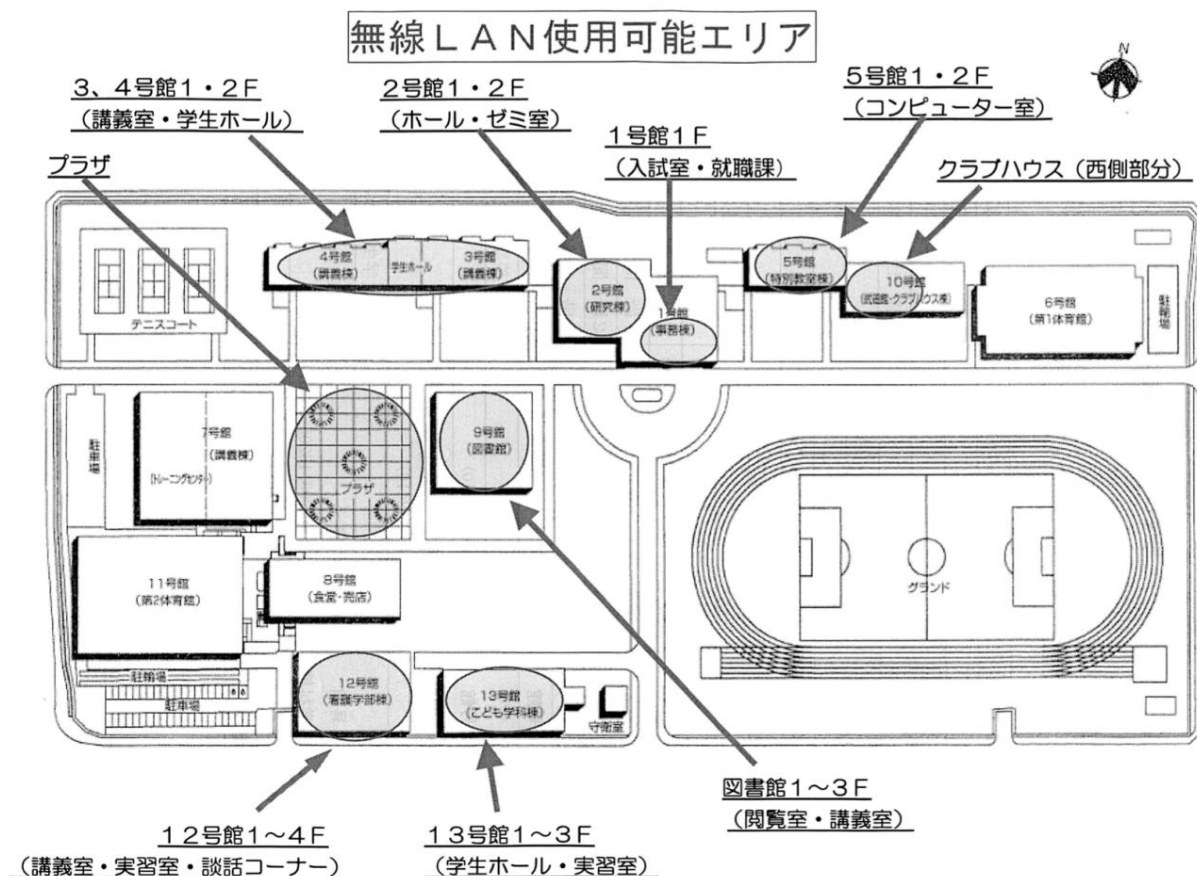
- 4) 附属図書館は、平成27年5月1日現在で蔵書数＝86,070冊、学術雑誌タイトル数＝513件を保有し、閲覧座席数＝200席である。なお、平成19年6月から、月曜日～金曜日の閉館時間を17時から19時に延長し、本学の学生だけではなく、平成26年度には242人の地域住民に利用させている。また、平成26年度から、学生の自主的な学習やグループ学習を支援するために、ラーニングコモンズ室を2室・語学学習室を1室を整備した。

- 5) 本学は、全学生の情報処理能力を向上させるために、情報教育研究センターを設置している。このセンターでは、5号館のコンピュータ室(4室)に、180台のパソコンを設置している。講義に使用されており、学生は講義時間以外に自由に使用することができる。上記コンピュータ室の他に、看護学部棟に58台、図書館閲覧室に検索用パソコン13台が設置されている。また、平成26年度から、全ての講義室内で無線LANの利用が可能となっている。

- 6) 現在では、学内LANも整備され、すべての建物で有線によるインターネット接続が可能となっている。また、ノートパソコン、タブレット端末、スマートフォン等のモバイル機器を用いた学生の自主学習や就職活動のために活用するシステムで、「履修指導システム」、「教職履修カルテシステム」及び「就職支援システム」を整備し、各学生の「学業成績データ」や「進路希望データ」によりきめ細かい履修・就学指導と就職支援を行うことを目的に「学生支援総合システム」を整備した。

さらに、「学生ポータルシステム」として学修支援システムを導入、小テスト、レポート提出等に活用され、学生ポートフォリオも作成できる。また、自宅学習にも利用でき、アクティブラーニングの作業環境の一つにもなっている「eラーニングシステム」も整備した。平成28年4月から学生、教職員向けに「Office 365 ProPlus」を整備した。

(以上のシステムについて学内ポータルシステムとして次項に説明掲載)



7) 平成 21(2009)年度及び平成 22(2010)年度に、「履修指導システム」、「教職履修カルテシステム」及び「就職支援システム」を、各学生の「学業成績データ」や「進路希望データ」に基づいてきめ細かい履修・就学指導と就職支援を行うことを目的に「学生支援総合システム」を構築した。さらに、看護学部において開発された看護実践能力到達度評価システムを加えて、学生支援総合システムとして平成 23(2011)年度から「ゼルコバ」の愛称で本格運用を開始している。ゼルコバはポータルサイトシステムとなっており、履修支援、就職支援等のシステムだけでなく、掲示板、メッセージ転送、スケジュール管理、ファイル管理等の機能もユーザ（学生及び教職員）は使用できる。

ゼルコバの管理・運用、学生及び教職員の使用は、すべて web ブラウザを使用して web ベースで行われる。学生は、学内無線 LAN システムを使用して、学内からアクセス可能になっている。また、学外からもアクセス可能であるので、履修登録、履修確認、成績確認等、自宅からも使用できる環境を整えている。

平成 27(2015)年度から、web 活用とモバイル機器利用に親和性の高い学修支援システム（LMS: Learning Management System）として「セレッソ」を追加導入した。授業では、スマホやタブレット端末による出席管理、小テスト、レポート提出等に活用され、学生ポートフォリオも作成できる。また、自宅学習にも利用でき、アクティブラーニングの作業環境のひとつにもなっている。

## <施設設備の維持・運営>

- 1) 本学の施設設備の全般的な管理運営は、事務局（管理＝庶務課、運営＝学務課）が担当している。本学の敷地は、校舎、グラウンド、通路以外は全面芝生が敷き詰められ、桜と欖並木、クスノキやバラの花壇もよく手入れされている。また、校舎は低層で校舎間の空間も広いので、ゆったりとした快適な環境で、学生が学習やクラブ活動に専念できるようになっている。
- 2) 各講義室・トイレは毎日清掃し、清潔感を保持しており、女子学生から喜ばれている。また、女子学生が半数以上になったので、学園内を明るくするために夜間照明の整備も進めている。
- 3) 建物は建築基準法の規定により、毎年 1 回、構造、防火等建築設備に関して現状調査を行っており、上水、下水の水質検査や昇降機も法令にのっとり、定期的に点検調査を実施している。また、平成 25 年度には障害学生のために、8 号館にエレベーターの設置などバリアフリー化も進めている。
- 4) グラウンド、テニスコート、体育館・武道館、トレーニング室等体育施設は、体育施設運営委員会が学務課と連携しながら管理運営に当たっている。それら施設の使用心得は、学生便覧に記載し、周知徹底を図っている。
- 5) 附属図書館については、利用の手引き・心得を学生便覧に記載するとともに、新入生には、毎年 4 月のオリエンテーション時に利用のための講習会を開催している。
- 6) 情報サービス施設の維持運営には、コンピュータ準備室を設置し、経営学科の助教・助手を常駐させることで、機器の適切な操作や管理を行うとともに、必要に応じて順次新型機器への更新を進めている。

（整備状況は以下の通り）

- ・学内ポータルシステム（学生・教職員ポータルシステム）

福山平成大学 学生・教職員ポータルシステムは、福山平成大学に所属する学生・教職員に対する情報発信・情報共有のための電子窓口です。

教育・研究や管理運営業務に必要な諸情報の提供を目的としています。

学生・教職員ポータルシステムには、教務や就職などの情報を閲覧できる Zelkova、学修を支援する Cerezo、自宅学修を支援する Moodleなどのシステムがあります。

- 学生ポータルシステム Zelkova（ゼルコバ）



Zelkova（ゼルコバ）は、教務、学生生活、進路・就職など、平大生に必要な情報を幅広く提供するポータルシステムです。「公開お知らせ」は、学外の方も閲覧できます。

#### ■学修支援システム Cerezo（セレッソ）



Cerezo（セレッソ）は、大学の授業や家庭での予習・復習など、学修を総合的に支援するシステムです。小テストの実施、レポートの提出、教材の配布、お知らせの掲示などを行います。

#### ■e ラーニングシステム Moodle（ムードル）



Moodle（ムードル）は、大学や自宅での学習を支援するための e ラーニングシステム です。ネットワーク環境を通じて、様々な場所で活用することができます。

学習教材として、「就活準備 SPI2 試験対策」、「IT パスポート試験学習教材」、「日商簿記 3 級対策コース」を導入しています。

## Office 365

Office 365 ProPlus の利用について

福山平成大学は、学修・教育環境の整備、学生サービスの向上などを図る目的で、マイクロソフトと教育機関向けソフトウェアライセンス総合契約を締結しました。

この契約に基づき、情報教育研究センターでは、本学の学生や教職員がサインすることで Office 365 ProPlus および関連するサービスが利用できる準備が整いました。

## 【８】授業料、入学料等（初年度分）

### 【学 部】

	経 営 学 部		福 祉 健 康 学 部		看 護 学 部	
	入学時納入	後期納入	入学時納入	後期納入	入学時納入	後期納入
(納入金) 入 学 金	円 330,000	円	円 330,000	円	円 330,000	円
授 業 料	(前期分) 400,000	(後期分) 400,000	(前期分) 430,000	(後期分) 430,000	(前期分) 700,000	(後期分) 700,000
小 計	730,000	400,000	760,000	430,000	1,060,000	700,000
(受託徴収金) 学友会費	5,000		5,000		5,000	
後 援 会	20,000		20,000		20,000	
小 計	25,000		25,000		25,000	
合 計	755,000	400,000	785,000	430,000	1,085,000	700,000

### 【大学院】

	経 営 学 研 究 科		ス ポ ー ツ 健 康 科 学 研 究 科		看 護 学 研 究 科	
	入学時納入	後期納入	入学時納入	後期納入	入学時納入	後期納入
(納入金) 入 学 金	円 200,000	円	円 200,000	円	円 200,000	円
授 業 料	(前期分) 320,000	(後期分) 320,000	(前期分) 350,000	(後期分) 350,000	(前期分) 450,000	(後期分) 450,000
小 計	520,000	320,000	550,000	350,000	650,000	450,000
(受託徴収金) 学友会費	5,000		5,000		5,000	
後 援 会	10,000		10,000		10,000	
小 計	15,000		15,000		15,000	
合 計	535,000	320,000	565,000	350,000	665,000	450,000

注 ○授業料は前・後期に分納して納入してもよい。（後期納入期間は８月２１日～９月１５日）  
○納入した学費は返還しない。

## 【9】大学が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援

### ＜学生の修学・就職・生活指導＞

#### （クラス担任制度及び学生委員会）

本学では、開学以来、学生の入学時から卒業まで、クラス担任教員が修学・生活指導・就職指導に関する相談・助言を行うことになっている。一時的には、この教員が学内の保証人的な役割を果たす。

また、全学的な組織としては、学生委員会があり、クラス担任教員や事務局と連携し、キャンパス内の食堂のメニュー調整、喫煙エリア、コンビニ・売店及び銀行の現金自動支払機の設置など、学生の快適な学園生活の改善に努めている。また、かざすだけで学内の食堂、コンビニの清算が可能な後払い型電子マネー機能を搭載し授業の出欠管理、図書館の入退館の多機能な学生証を整備しました。

### ＜経済的支援＞

#### 1) 福山平成大学奨学金制度

「学校法人福山大学奨学生規程」が定められている。福山大学又は福山平成大学の入学者のうち、学業成績、人物ともに優秀で、将来社会の指導的人物となり得る人材に奨学金を授与して積極的にその育成に資することを目的としている。奨学生には一般奨学生と特別奨学生がある。一般奨学生は、本学に入学後学業成績優秀な 20 人程度の学生に対して、当該年度授業料のうち 30 万円を免除している。特別奨学生は、一般入学試験（前期 A 日程）の合格者のうち成績優秀な者（毎年 30 人程度）に対して授業料の 40/100（看護学部は 30/100）を免除するものである。

#### 2) 学校法人福山大学奨学生

本学では、学業成績優秀、品行方正であり、他の学生の模範になると認められる者に奨学金を授与して積極的にその育成に資することを目的とした 4 種類の独自奨学制度を設けている。

##### ①一般奨学生

本学に入学後、2 年次以上の者における前年度の学業成績優秀な者のうち、福山平成大学奨学生選考部会で毎年若干名を選考し、当該年度の授業料のうち、30 万円を減免する。

##### ②特別奨学生 A

特別奨学生 A は、推薦入試（A 日程・B 日程）、一般入学試験【前期（A 日程・B 日程）・後期】、大学入試センター試験利用入試（前期・後期）の合格者で、入学試験の成績が優秀な者のうちから選抜する。一般入試（前期 A 日程）は約 30 名、その他の入試は若干名として選抜する。特別奨学生 A として入学する者について、入学年次の授業料について 100 分の 40 を減免するとともに、正規の修業年限の間、継続して適用する。ただし、2 年次以降において、前年度各学科で定められた単位数以上を取得し、かつ、前年度単位取得科目の平均値が 75 点以上の場合に限る。

##### ③特別奨学生 B

特別奨学生 B は、指定校入学試験の合格者のうち、高校に通知する評定平均値を上回る者を選考し、入学金を 15 万円に減免するとともに、入学年次の授業料について看護学部には 100 分の 30 を、その他の各学部には 100 分の 40 を減免し、正規の修業年限の間、継続して適用する。ただし、2 年次以降において、前年度各学科で定められた単位数以上を取得し、かつ、前年度単位取得科目の平均値が 75 点以上の場合に限る。

### 3) 日本学生支援機構奨学生

平成 28 年 7 月現在の日本学生支援機構奨学金を貸与された学生数は次のとおりであり、全学生の 57.9%の者が貸与されている。

表 9.1 日本学生支援機構奨学生採用状況

(単位:人)

種別／学年	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	合計
第 1 種奨学金	57	46	59	43	205
第 2 種奨学金	125	122	118	124	489
合計	182	168	177	167	694

### 4) その他の奨学金制度

上記以外に、次の奨学金を受けている者がいる。

文部科学省私費外国人留学生学習奨励給付制度、広島国際センター、熊平文化財団、鹿児島県育英会、松永育英奨学会、山口県ひとづくり財団、あしなが育英会、福山市奨学資金、島根県育英会、岩国市教育委員会 etc.

### 5) アルバイトの紹介

本学では経済的理由などから、止むを得ずアルバイトをしなければならない学生のために、学務課において企業などからアルバイト求人の申込みがあれば、その求人票を学生ホールの掲示板に掲示して紹介している。但し、危険を伴う作業や深夜に及ぶ業務並びに風俗営業等は禁止している。

### 6) 入学金減免制度

同窓生の子弟及び在学生の兄弟姉妹に対して、就学時の経済的支援のため、入学金を減免する制度を実施している。同窓生及び在学生とは本学に加え福山大学も含まれている。本学の入学金は 330,000 円であるが、減免後は 200,000 円となる。

### <課外活動への支援>

#### (1) クラブ活動助成

学生のクラブ活動には、大学、後援会及び同窓会で支援している。

### <健康相談等>

#### (1) 保健管理センター

学生の健康管理のために保健室を設けており、月曜日から土曜日には看護師免許を持った教員が常駐している。これ以外の時間帯は学務課で対応している。学生には体調が悪くなった時や怪我をした時には、このセンターを利用することを勧めている。また、悩みのある学生には月・火曜日に学生相談室を開室しており、学外の非常勤カウンセラー1名と教員1名（ともに臨床心理士資格あり）が1日ずつ学生や教職員、保護者の相談に対応している。

定期健康診断は毎年 1 回 4 月下旬に実施し。看護師職員から診断結果により学生に健康指導を行う。  
また、就職活動に必要な健康診断証明書を発行できるようにしている。

## （２）学生教育研究災害障害保険

教育研究活動中の不慮の災害事故補償のために「学生教育研究災害障害保険」に大学及び後援会の負担で全学生を加入させている。また、スポーツ活動中や臨地実習・教育実習中の事故等のため、賠償責任保険に加入することを勧めている。

## ＜学生の意見汲み上げシステム＞

毎年、学生生活に関するアンケートを 1～3 年生を対象に行っている。アンケート内容は、「生活での悩み」、「通学状況」、「生活状況」、「アルバイト状況」、「学生の意見・要望」などである。その集計結果を保証人懇談会資料に掲載し、保証人に配付している。特に、「学生の意見・要望」については、できるものから改善している。

授業アンケート、担任制度、保証人懇談会等は学生サービスに対する学生や保証人の意見等を汲み上げるシステムとなっている。

## ＜主な交通手段＞

- ・所在地：広島県福山市御幸町上岩成正戸 117-1。
- ・アクセス：ＪＲ福塩線「万能倉駅」下車、東方面徒歩 15 分又はＪＲ福山駅南口から中国バスで中国中央病院方面行「中国中央病院」下車、徒歩 2 分。

＜上記の他、学生生活についてはホームページをご参照ください。＞

## 【10】沿革

昭和 50 年 1 月 10 日	学校法人福山大学及び福山大学設置認可 理事長、学長に宮地茂就任
平成 4 年 4 月 30 日	学校法人福山大学、福山平成大学設置認可申請
平成 5 年 12 月 21 日	福山平成大学「経営学部経営情報学科（入学定員 130 人、編入学定員 20 人）、同経営法学科（入学定員 100 人、編入学定員 20 人）、同経営福祉学科（入学定員 80 人、編入学定員 20 人）」設置認可
平成 6 年 4 月 1 日	福山平成大学開学 初代学長に久留島陽三就任
平成 6 年 4 月 10 日	第 1 回入学式举行
平成 6 年 5 月 1 日	学校法人福山大学総長に宮地茂理事長就任
平成 7 年 4 月 1 日	学校法人福山大学理事長に宮地尚就任
平成 8 年 4 月 10 日	第 1 回第 3 年次編入学生入学
平成 10 年 3 月 22 日	第 1 回学位記授与式（卒業式）举行
平成 11 年 4 月 1 日	二代学長に齊藤尚夫就任
平成 11 年 12 月 22 日	福山平成大学大学院「経営学研究科（修士課程）経営情報学専攻（入学定員 5 人）、同経営法学専攻（入学定員 5 人）」設置認可
平成 12 年 4 月 1 日	福山平成大学大学院経営学研究科、経営情報学専攻、経営法学専攻開設
平成 14 年 3 月 22 日	第 1 回大学院経営学研究科学位記授与式（卒業式）举行
平成 14 年 3 月 28 日	福山平成大学経営学部経営福祉学科に「保育士を養成する学校その他の施設として指定」認可
平成 14 年 4 月 1 日	三代学長に宮地尚就任
平成 14 年 7 月 1 日	四代学長に大門隆就任
平成 14 年 9 月 4 日	「経営法学科」を「ビジネス法学科」に平成 15 年 4 月 1 日から学科名称変更認可
平成 15 年 7 月 24 日	経営福祉学科を改組し、福祉健康学部福祉学科（入学定員 80 人）、健康スポーツ科学科（入学定員 70 人）届出認可
平成 16 年 4 月 1 日	福祉健康学部福祉学科、健康スポーツ科学科開設

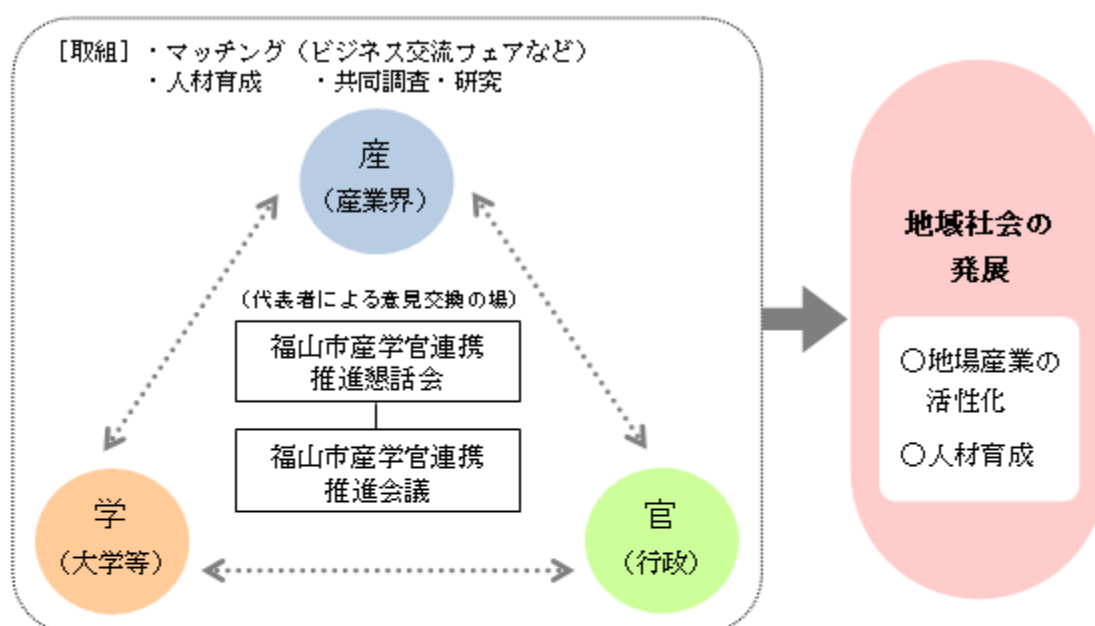
平成 17 年 4 月 1 日	五代学長に田口則良就任 福祉健康学部健康スポーツ科学科入学定員増（70人→100人） 経営学部ビジネス法学科学生募集停止
平成 18 年 4 月 1 日	福祉健康学部福祉学科社会福祉学専攻（入学定員40人）、幼児保育学 専攻（入学定員40人）開設
平成 18 年 11 月 30 日	看護学部看護学科（入学定員80人）設置認可
平成 19 年 4 月 1 日	看護学部看護学科開設
平成 20 年 3 月 24 日	日本高等教育評価機構より第三者評価適合認定
平成 20 年 4 月 1 日	「経営学部経営情報学科」を「経営学部経営学科（入学定員100人）」 に名称変更 福祉健康学部こども学科（入学定員50人）を開設、福祉健康学部福祉 学科入学定員減（80人→60人）
平成 20 年 10 月 31 日	大学院スポーツ健康科学研究科(修士課程)（入学定員5人）設置認可
平成 20 年 12 月 24 日	大学院看護学研究科(修士課程)（入学定員5人）設置認可
平成 21 年 4 月 1 日	大学院スポーツ健康科学研究科、看護学研究科開設
平成 22 年 4 月 1 日	経営学部経営学科入学定員減（100人→50人）
平成 23 年 4 月 1 日	助産学専攻科（入学定員10人）開設
平成 23 年 6 月 1 日	学校法人福山大学理事長に清水厚實就任
平成 24 年 4 月 1 日	看護学部の新保健師養成課程の認可
平成 26 年 10 月 22 日	平成 26 年度「私立大学等教育研究活性化設備事業」に採択 （事業名称:学修総合支援システムの充実 「学生の学修支援環境の整備」）
平成 27 年 3 月 10 日	日本高等教育評価機構より第三者評価適合認定
平成 27 年 11 月 18 日	平成 27 年度「私立大学等教育研究活性化設備事業」に採択 （事業名称:アクティブラーニングのための什器等の整備）
	現在に至る

【11】上記以外の情報（産学官連携、社会貢献活動、大学連携高大連携）

（産学官連携）

産学官が経済，教育，福祉など幅広い分野で連携し，地場産業の活性化や地域社会に貢献できる人材育成等に取り組むことで，地域社会の発展をめざします。

（1）体制



【構成団体】

産	福山商工会議所，神辺町商工会，沼隈内海商工会，福山北商工会，福山あしな商工会
学	福山大学，福山平成大学，福山市立大学，福山職業能力開発短期大学校
官	福山市経済部，企画政策部

（2）主な取組

「若者の就職観・結婚観などに関するアンケート」を実施しました

福山市産学官連携推進会議における共同研究として、福山市内の学校に在籍する現役の大学生等を対象に、就職観等のアンケート調査を実施し、その集計結果をまとめました。

**【調査目的】** 福山市の人口流出を防ぐため、「福山市内の企業に就職したい」、「福山市を離れても戻ってきたい」と思える環境づくりについて、調査・研究を行い、若者の就職観・結婚観の醸成等、人口減少対応施策を打ち出していくための土台づくりに取り組みます。

**【調査対象】** 福山市内の学校（福山大学、福山平成大学、福山市立大学、福山職業能力開発短期大学校）に在籍する現役の大学生と大学院生から 1, 5 1 5 人を抽出しました。

**【調査結果の活用について】** ・産学官で連携してアンケート結果を分析し、「若者の就職・定住に向けた環境づくり」対策の検討・研究を行います。

・福山市内企業へ結果を情報提供することで、雇用の際の参考にしていただき、地元の経済や産業の活性化につなげます。行政は、今後の施策に反映できるよう研究を行います。

#### **【集計結果・調査票】**

[01 学生アンケート（集計結果） \[PDF ファイル／811KB\]](#)

[02 学生アンケート（調査票） \[PDF ファイル／445KB\]](#)

（引用資料：福山市産学官連携ポータルサイト）

## (社会貢献活動)

### ■平成 28 年度事業内容

## 福山平成大学公開講座

### 目的

福山平成大学は開学以来、教員の研究成果を地域社会に公開し、社会の人々に、生活及び職業上の専門的な知識と一般教養を高める学習機会を提供し、生涯学習の振興と文化的、産業・経済的な発展に寄与するよう開催しています。

いま、教育にかかわる大きな改革が動いています。「関わり/つながり」は、世界の相互依存・多文化共生社会を背景に、21世紀の教育のキーワードとなっています。人と人、人と自然、人と社会など多様な「関わり/つながり」ができ、良好な関係を構築できる人間の育成が、教育の重要な課題となってきました。本講座では、「関わり/つながり」の視点から、家庭・地域・社会・世界と関わる教育の問題を考え、提言します。健康スポーツ科学科の房前浩二教授から「体育教育と社会」、経営学科の佐藤真司教授から「ICT社会と情報リテラシー教育」、福祉学科の杉本浩章准教授から「地域包括ケア時代の福祉教育」、こども学科の加知ひろ子教授から「幼児のことばを考える」、看護学科の若井和子教授から「性教育を考える」を計画しました。

### (内容)

テーマ「教育の問題を考える」

#### 第1講 体育教育と社会

9月8日(木) 房前浩二教授(健康スポーツ科学科)

#### 第2講 ICT社会と情報リテラシー教育

9月15日(木) 佐藤真司教授(経営学科)

#### 第3講 地域包括ケア時代の福祉教育

9月29日(木) 杉本浩章准教授(福祉学科)

#### 第4講 幼児のことばを考える

10月6日(木) 加知ひろ子教授(こども学科)

#### 第5講 性教育を考える

10月13日(木) 若井和子教授(看護学科)

日時：9月8日(木)～10月13日(木) 毎週木曜日全5回18：30～20：00

会場：福山平成大学7号館大講義室 <http://www.heisei-u.ac.jp/info/map.html>

主催：福山平成大学

後援：福山市 福山市教育委員会 福山商工会議所 府中商工会議所

尾道市 尾道市教育委員会 尾道商工会議所 三原市教育委員会 三原商工会議所

## 看護学部 地域交流センター事業

看護学部地域交流センターは、「看護の教育的機能」を最大限に発揮して、地域貢献に資することを目的に平成20年10月に設立された。看護学の研究の促進はもとより、その最新の知識と技術を地域住民および看護専門職の方々と共有し、協働していくために、「看護学部 地域交流センター事業」として前期講座・後期講座を実施している。主な事業は、看護専門職に対しては研究指導、一般住民に対しては健康増進への支援であり、大学を拠点として、医療施設・地域住民との連携を保ち、地域貢献活動に寄与している。



### 平成28年度 地域交流センター事業 看護学部公開講座 一覧

水曜 18:00～19:30				
	月	日	テーマ	簡単な内容紹介
前期講座	6月	22日 (水)	いつまでもおいしく 食べるために	おいしく食べるために座ってできる体操をしましょう。
	7月	27日 (水)	高齢化と骨密度	高齢化が進む中で、骨密度を低下させない方法とは？！毎年骨密度を測定し自分の健康を意識しましょう。
	8月	24日 (水)	若返りのコツと血管年齢・体組成	高脂肪血しょう、血管年齢の老化を予防するには？！毎年血管年齢、体組成を測定し、自分の健康を意識しましょう。
	9月	28日 (水)	孫育て こんな時どうする？ 私にできること	少子化、高齢化、核家族化と子供を取り巻く環境が変化する中で、私たちにできることを一緒に考えましょう。

- 会 場 / 福山平成大学12号館(看護学部棟)1階 地域交流センター
- 開 催 日 時 / 毎月第4水曜日18:00～19:30
- 申込・問合せ先 / 福山平成大学看護学部事務室  
〒720-0001 福山市御幸町上岩成正戸117-1  
☎084-972-5001(内線2701・2702)
- 申 込 方 法 / 所定の申込往復ハガキに所要事項を記入の上、郵送または持参。  
FAXにてお申し込みの場合は必要事項ご記入の上、FAXしてください。(自宅FAX番号必須)
- 申 込 締 切 / **前期講座: 平成28年6月15日(水) 消印有効**  
※申込多数の場合は、先着順により受講者を決定いたします。あらかじめご了承ください。

# 福山平成大学

〒720-0001 広島県福山市御幸町上岩成正戸117-1  
TEL: 084-972-5001(代) FAX: 084-972-7771

# 家族みんなで

# 健康に

福山平成大学  
マスコット  
キャラクター：  
へいちゃん



受講料は無料。  
どなたでも参加できます。

## 平成28年度 地域交流センター事業 看護学部公開講座 一覧

	月	日	テーマ	簡単な内容紹介
後 期 講 座	10月の学生による健康教育は <b>土曜日10:00～11:30</b> に行います			
	10月	1日 (土)	健康教育	保健師課程の学生が健康教室をおこないます。
	10月	8日 (土)	健康教育	保健師課程の学生が健康教室をおこないます。
	水曜 18:00～19:30			
	10月	26日 (水)	在宅での看護に役立つ知識	介護保険の申請や認定について簡単にできる体位変換をやってみましょう。
	11月	30日 (水)	血圧と塩分の話 ～あなたは薄味？濃い味？～	血圧と塩分、減塩の工夫についてお話します。塩分濃度計を使って味覚チェックをしてみましょう。
	1月	25日 (水)	ストレス社会を生き抜こう	ストレスへの対処方法とストレスチェック、ハンドマッサージを行います。
	2月	15日 (水)	自ら育てよう若返りホルモン	若返りのホルモンについて体のしくみと日常生活について学びましょう。

- 会 場 / 福山平成大学12号館(看護学部棟)1階 地域交流センター
- 開 催 日 時 / 水曜日18:00～19:30 ※10月の学生による健康教育は土曜日10:00～11:30に行います。
- 申込・問合せ先 / 福山平成大学看護学部事務室  
〒720-0001 福山市御幸町上岩成正戸117-1  
☎084-972-5001(内線2701・2702)
- 申 込 方 法 / チラシ裏のFAX申込用紙に所要事項を記入の上、FAX・郵送または持参してください  
(自宅電話番号必須・自宅FAXをお持ちの方はご記入をお願いいたします)
- 申 込 締 切 / **平成28年9月23日(金)**  
※申込多数の場合は、抽選により受講者を決定いたします。あらかじめご了承ください。  
※受講期間であっても定員に余裕があれば、受講可能ですので、ご連絡ください。

## 福山平成大学

〒720-0001 広島県福山市御幸町上岩成正戸117-1  
TEL: 084-972-5001(代) FAX: 084-972-7696

# 幼児期から親子ではじめる性教育

～親子で学びいのちの大切さ～

2016



*HimeTsubo*

このたび、3回シリーズで幼児と保護者を対象に下記プログラムを企画しました。

このプログラムは、①先入観のない幼児期に親子で性教育を学ぶことで、子どもが恥ずかしがらずに相談できる親子関係をつくること、②いのちの大切さを学び、自分も周囲の人も大切にできる心を育むことを目的とする心と体の健康教育です。

★親子（きょうだい）一緒にご参加ください。

途中参加也大歓迎！

※30分前より受付開始

参加費：無料

福山平成大学 助産学専攻科 若井 和子（研究代表者）

問い合わせ先：084-972-5001（代表）・2745（内線）

	月日(曜)	対象年齢	時 間	テーマ＜教材＞	場 所
第1回	5月22日 (日)	3～4歳	9:30～10:30	はじめましてあかちゃん ＜エプロンシアター＞	福山平成大学 地域交流 センター (12号館1階)
		5～6歳	11:00～12:00	赤ちゃんになって生れる体験 ＜エプロンシアター・手作り産道＞	
第2回	6月26日 (日)	3～4歳	9:30～10:30	生まれてきてくれてありがとう ＜ペープサート＞	
		5～6歳	11:00～12:00	大切なからだ ＜パネルシアター＞	
第3回	7月31日 (日)	3～4歳	9:30～10:30	男の子と女の子の違い・大切なからだ ＜パネルシアター＞	
		5～6歳	11:00～12:00	自分も大切、みんなも大切 ＜からだを動かすゲーム＞	

## (大学連携)

### グローバル人材育成事業

#### びんご圏域連携グローバル人材育成事業（H28～）

「国際経営における人材の育成と備後企業の取り組み」

#### ■平成 28 年度事業内容

本講座は、地元企業の協力のもと、備後地域（広島県東部）にある 4 大学が連携し、グローバル人材育成をねらいとした、大学生および社会人向け実践的講座です。

本講座で修得した国際経営理論や知識と、海外研修との相乗効果によって、真に国際ビジネスで活躍できる人材を育成し、備後地域に供給することが目的です。

※本事業は、平成 25～27 年度の 3 年間実施した、広島県補助事業「大学連携による新たな教育プログラム開発・実施事業」を、福山市を中心とした備後圏域連携中枢都市の取り組みとして、ほぼ同様の内容で実施するものです。

連携大学：福山大学、尾道市立大学、福山平成大学、福山市立大学

受講対象者：学生 | 連携 4 大学に在籍する学生

一般 | 備後圏域の 6 市 2 町（※）に在住もしくは勤務されている方

※広島県福山市、尾道市、三原市、府中市、世羅町、神石高原町、岡山県笠岡市、

井原市

講義日程：2016 年 10 月 1 日（土）～11 月 19 日（土）毎週土曜日 9 時～12 時 全 15 回

講義内容：「国際経営における人材の育成と備後企業の取り組み」というテーマで、

経営の国際展開の理論と、実際に海外に事業展開をしている

備後地域企業の実務担当者のケーススタディを予定。

定員：大学生 50 名、社会人 20 名 程度

受講料：無料

備考：講座終了後、希望者のみ海外研修（タイ・12 月中旬頃予定）を行います。

また、海外研修費の約半額補助もあります。

（※学生優先、希望者多数の場合は抽選）

会場：学校法人福山大学 宮地茂記念館（JR 福山駅北口正面）

■講義日程

	9:00～10:30 (90 分)			10:40～12:10 (40 分+質疑応答 50 分)
10/1 (土)	第 1 回	【多国籍企業の成立】 ★ 兵庫県立大学大学院経営研究科 教授 梅野 巨利 先生	第 2 回	【ケーススタディ 1】 株式会社広島銀行 国際営業室シニアマネージャー 佐藤 憲彦 氏
10/8 (土)	第 3 回	【グローバルバリューチェーン の分析】 福山大学経済学部国際経済学科 教授 萩野 覚 先生	第 4 回	【ケーススタディ 2】 株式会社北川鉄工所 素形材事業部技術部部長 種延 隆 氏
10/15 (土)	第 5 回	【国際経営組織】 ★ 兵庫県立大学大学院経営研究科 教授 梅野 巨利 先生	第 6 回	【ケーススタディ 3】 株式会社シギヤ精機製作所 営業統括本部次長 小林 浩 氏
10/22 (土)	第 7 回	【中小企業の海外進出】 福山大学経済学部税務会計学科 教授 中沢 孝夫 先生	第 8 回	【ケーススタディ 4】 佐藤産業株式会社 代表取締役社長 佐藤 友彦 氏
10/29 (土)	第 9 回	【海外現地経営】 ★ 兵庫県立大学大学院経営研究科 教授 梅野 巨利 先生	第 10 回	【ケーススタディ 5】 ホーコス株式会社 専務取締役 唐木 俊夫 氏
11/5 (土)	第 11 回	【グローバルマーケティング】 神戸大学大学院経営学研究科 教授 黄 磷 先生	第 12 回	【ケーススタディ 6】 株式会社キャステム 代表取締役社長 戸田 拓夫 氏
11/12 (土)	第 13 回	【国際経営戦略】 東京大学大学院経済学研究科 教授 新宅 純二郎 先生	第 14 回	【ケーススタディ 7】 早川ゴム株式会社 生産技術グループグループリーダー 末 永 攻治 氏
11/19 (土)	第 15 回	【ケーススタディ 8】 リョービ株式会社 人事・総務部人事担当副部長 金 子 慶太 氏	★ 梅野教授の講義（10/1, 10/15, 10/29）では、 グループディスカッションを実施	

一般社団法人 教育ネットワーク中国 による

高大連携事業

＜高校生に大学・短期大学等の講義を提供＞

高大連携事業とは、高校と大学との有機的な接続を図ることを目的に、広島県教育委員会、広島市教育委員会、呉市教育委員会、福山市教育委員会、広島県私立中学高等学校協会、広島大学附属高等学校、広島大学附属福山高等学校そして山口県岩国地区の高等学校と協定を結び、当ネットワーク会員の正規授業科目と高校生のために特別に企画された公開講座を広島県内および山口県岩国地区の高等学校生徒に提供するものです。

＜2016 年度提供校県内 41 大学＞

上記により、つぎのように開催案内をした。

## 公開講座

2016 年度高大連携公開授業・公開講座の実施について

開催日時	学部 学科	科目番号	講義名	担当者
10/22(土) 12:00~14:00	福祉健康学部 健康スポーツ科学科	41201	保健体育教員への道	房前浩二 教授
	看護学部 看護学科	41202	「守りたいあなたと 私の性の健康」	若井和子 教授

### ●集合場所

福山平成大学 2号館ロビー（11：30 までに集合）

### ●会場アクセス

JR～スクールバス利用

- ・ JR 福山駅より JR 福塩線に乗り換え「神辺（かんなべ）駅」下車、東口よりスクールバス運行約 10 分

（大学祭期間中につき、バス運行時刻が変更になる場合があります。後日ホームページに掲載いたしますのでご確認ください。）

- ・ JR 万能倉駅より徒歩 15 分

バス利用

- ・ JR 福山駅南口より、中国バス「中国中央病院方面行」に乗車、所要時間約 25 分

高速バス利用

- ・ 広島市内より高速バス「リードライナー」が大学前まで運行、所要時間約 1 時間 50 分

### ●所在地

広島県福山市御幸町上岩成正戸 117-1 福山平成大学内

## 平成 28 年度 中高大連携公開講座「大学で何を学ぶか」

(三次会場)

・担当講師 看護学部 看護学科 木宮高代教授

テーマ 認知症のある高齢者の理解を深め、高齢者への思いやりや心づかい、心のケアを学

内容 高齢社会にあつて、高齢者の身体的な老化現象、健康障害、老いに向き合う老年期の心理、高齢者の生活などの理解を深める。特に認知症のある高齢者の特徴を知り、高齢者への思いやりや心づかい、心のケアについて考える。

(庄原会場)

・担当講師 福祉健康学部 こども学科 伊藤憲孝准教授

テーマ 世界に一つだけの物語 ～言葉×音～

内容 「世界に一つだけの物語」を、即興で講座受講者と作りあげます。あなたが広げた想像の翼は、いったいどんな物語として展開していくのでしょうか。現実には有り得ないことが、物語ではおきてしまうかも・・・  
完成した物語は、私が即興でつけた音楽と合わせて聴いてみたいと思います。言葉と音で新しい世界を一緒に紡ぎましょう。

## H27 年度 高大連携

日時	場所	行事名	出席教員
H27. 7. 21	盈進高等学校	出張講義	こども・加知 ひろ子
H27. 10. 3・4	盈進高等学校	盈進高等学校学園祭(説明会)	経営・福祉・こども・看護各教員
H27. 11. 12	沼田高等学校	出張講義	福祉・向井 通郎
H27. 11. 11	福山明王台高等学校	出張講義	健スポ・上村 崇
H27. 12. 6	東高等学校	出張講義	福祉・伊藤 泰三
H27. 12. 9	尾道北高等学校	出張講義	健スポ・武田 守弘
H28. 3. 15	島根県立大社高等学校	出張講義	健スポ・中村、若井、大橋
H27. 7. 8	福山平成大学	大学体験入学 学科説明・模擬授業	如水館高校 2年生 109名
H27. 7. 9	福山平成大学	大学体験入学 学科説明・模擬授業	福山商業高校 PTA 17名
H27. 7. 10	福山平成大学	大学体験入学 学科説明・模擬授業	銀河学院高校 1年生 70名
H27. 9. 9	福山平成大学	大学体験入学 学科説明・模擬授業	府中東高校 2年生 80名
H27. 9. 11	福山平成大学	大学体験入学 学科説明・模擬授業	松永高校 1年生 32名
H27. 10. 1	福山平成大学	大学体験入学 学科説明・模擬授業	瀬戸田高校 1年生 34名
H27. 10. 8	福山平成大学	大学体験入学 学科説明・模擬授業	大社高校 2年生 42名
H27. 10. 15	福山平成大学	大学体験入学 学科説明・模擬授業	因島高校 1年生 63名
H27. 5. 27	宮地茂記念館	大学体験進路別セミナー	福山葦陽高校 1年生
H27. 8. 6	宮地茂記念館	大学体験進路別セミナー	福山明王台高校 1年生

V280531